



# 消 防 年 報

令 和 4 年 版



い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部

( 令 和 5 年 刊 行 )

# はじめに

この年報は、いちき串木野市消防本部の現況及び令和3年度における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し、理解と協力を得るため編集したものであります。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については、会計年度で作成し、それ以外のものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

令和5年6月

いちき串木野市消防本部

# 目 次

## I 総括

1	いちき串木野市の位置・概要	1
2	市域の変遷	2
3	消防の沿革	2～4
4	歴代消防長（いちき串木野市消防本部）	4

## II 総務

1	いちき串木野市消防本部・消防署の組織	5
2	消防本部・消防署・分遣所の事務分掌	6～7
3	いちき串木野市消防現勢分布図	8
4	消防庁舎等施設の状況	
(1)	消防本部（署）・分遣所	9
(2)	消防団	9
5	令和4年度の主な行事	10
6	消防予算	
(1)	消防予算の内訳	11
(2)	市総予算と消防予算	12
(3)	消防予算と人口・世帯数との比較	12
7	人事・教養	
(1)	消防職員の配置状況	13
(2)	消防職員の階級別年齢構成	13
(3)	消防職員の階級別勤続年数構成	14
(4)	消防職員研修状況	14
8	消防団	
(1)	消防分団所轄区域、定員及び幹部名	15
(2)	消防団員の階級別勤続年数構成	16
(3)	消防団員の階級別年齢構成	16
(4)	消防団員出場状況	17
(5)	消防団員の報酬等	17
9	いちき串木野市消防連合後援会	18
10	表彰	18

## III 予防・危険物

1	防火対象物の状況	19
2	防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）	20
3	建築同意事務等処理状況	
(1)	建築同意状況	21
(2)	専用住宅建築確認通知状況	21

4	消防用設備等設置検査実施状況	2 1
5	消防法関係届出状況	2 2
6	火災予防条例関係届出状況	2 3
7	防火啓発状況	2 4
8	危険物施設の状況	2 4
9	危険物関係許可・検査処理状況	2 5
1 0	危険物施設の立入検査状況	2 5
1 1	液化石油ガス等の保安指導状況	2 6
1 2	串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況	2 7～2 9
1 3	消防協力団体の結成状況	
(1)	いちき串木野市幼少年婦人防火委員会	3 0
(2)	幼年消防クラブ	3 0
(3)	婦人防火クラブ	3 0
(4)	防火管理協会	3 1
(5)	危険物安全協会	3 1

#### IV 火災・救急・救助

1	令和4年中の火災発生状況	3 2
2	火災統計	
(1)	令和4年中の火災状況	3 3
(2)	過去5年間の年別火災概要	3 4
(3)	過去5年間の原因別火災発生件数	3 4
(4)	過去5年間の月別火災発生件数	3 5
(5)	過去5年間の曜日別火災発生件数	3 5
(6)	過去5年間の時刻別火災発生件数	3 6
(7)	火災発生時の気象状況	3 7
3	救急業務統計	
(1)	救急業務取扱状況	3 8
(2)	傷病程度別搬送状況	3 8
(3)	疾病分類別搬送状況	3 9
(4)	搬送別状況	3 9
(5)	覚知別出場状況	3 9
(6)	居住地別搬送状況	3 9
(7)	救急救命処置実施状況	3 9
(8)	救命処置実施状況	3 9
(9)	月別救急出場状況及び搬送人員の状況	4 0
(10)	曜日別救急出場状況	4 1
(11)	現場到着所要時間別出場件数	4 1
(12)	収容所要時間別搬送人員	4 1
(13)	時間別出場状況（総件数及び急病件数）	4 2
(14)	市別搬送状況（搬送先）	4 2
(15)	救急出場件数の推移	4 3

(16) 過去5年間の救急出場状況	4 3
(17) 年齢別搬送人員状況	4 4
(18) 各比率	4 4
4 救助業務統計	
(1) 救助出動状況	4 5
(2) 過去5年間の救助出動状況	4 5
5 応援協定等の締結状況	4 6

## V 機械・水利

1 基準消防力と現有消防力との比較	
(1) 消防本部（署）	4 7
(2) 消防団	4 7
(3) 消防職・団員と市民との割合	4 7
2 消防機械器具及び水利状況	
(1) 消防署の消防車両状況	4 8
(2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況	
ア 串木野地域	4 9
イ 市来地域	5 0
(3) 署・各分団のホース保有状況	5 1
(4) 消防資機材の保有状況	5 2
(5) 消火薬剤等の保有状況	5 3
(6) 原子力防災資機材の保有状況	5 3
(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）	
ア 串木野地域	5 4
イ 市来地域	5 5
(8) 消防無線の状況	
ア 消防本部	5 6
イ 消防団	5 7

## VI 気 象

1 気象観測の状況	5 8
2 風向の状況	5 9
3 各地の降水量（防災テレメーターによる。）	5 9

## VII 付 録

1 消防の沿革（串木野市消防本部）	6 0～6 5
2 歴代消防長（串木野市消防本部）	6 6
3 歴代消防団長	
(1) 旧串木野市	6 7
(2) 旧市来町	6 7
(3) いちき串木野市	6 7

# I 総括

面積	.....	112.30km <sup>2</sup>
人口	.....	26,194人
世帯数	.....	13,012世帯

(令和5年4月1日現在)

## 1 いちき串木野市の位置・概要

いちき串木野市は、薩摩半島の北西部にあり、西に白砂青松が続く吹上浜の海岸線を臨み、東に徐福伝説の霊峰冠嶽を控える、海・山・温泉などの自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所に位置し、また、3つの駅・2箇所的高速インターなど生活環境と利便性にも恵まれたまちである。

そして、縄文後期に人々が漁労や狩猟をして生活を営み、広い範囲にわたって人と物と情報の交流をしていたことを示す県指定文化財の市来貝塚や、徐福伝説とともに薩摩における山岳仏教の中心地として発展してきた冠嶽、さらに、江戸時代の陸上交通において九州筋の宿場として、また海上輸送の一中心地として物資等の集散地となり、宿場町と商業の地として栄える一方、金鉱業と遠洋まぐろ漁業のまちとして栄えてきたという、これまでに累々と積み重ねられた歴史と、そこから生まれた文化がある。

また、我がまちは、1865年薩摩藩英国留学生19名が近代日本の礎を築くため翔ばたいた黎明の地でもあり、私たちがこの勇敢な先達の思いを胸に、今再びこの地から21世紀の夢を発信しているところである。

◎ 消防本部の位置 東経130度16分27秒

北緯31度42分30秒



## 2 市域の変遷

年 月 日	事 項	面 積 ( km <sup>2</sup> )	人 口			世 帯 数
			計	男	女	
明治 22. 4. 1	冠岳村、上名村、下名村、荒川村、羽島村の 5 ケ村が合併して串木野村となる。	79.60	—	—	—	
明治 22. 4. 1	湊村、大里村、川上村が合併して、西市来村となる。					
昭和 5. 4. 1	町制施行 (西市来村⇒市来町)		8,290			
昭和 10. 4. 1	町制施行 (串木野村⇒串木野町)	79.60	24,637	11,727	12,910	5,501
昭和 25.10. 1	市制施行 (串木野町⇒串木野市)	79.60	33,884	16,483	17,401	7,182
平成 17.10.11	串木野市、市来町の 1 市 1 町で合併し、いちき串木野市となる。	112.02	33,087	15,516	17,571	13,601

## 3 消防の沿革

平成 17 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村合併 (串木野市と市来町) により新市「いちき串木野市」誕生</li> <li>○いちき串木野市消防本部・消防署・いちき分遣所発足</li> <li>○初代消防長 野田 豊 就任</li> <li>○職員 8 名 (日置地区消防組合職員 3 名・旧串木野市役所職員 1 名・旧市来町役場職員 4 名) が転任、実員 45 名となる。いちき分遣所に 12 名を配置する。</li> <li>○串木野市消防団と市来町消防団は、合併により 1 団を形成し、「いちき串木野市消防団」となる。(団長 1 名、副団長 4 名、13 分団、定数 299 名)</li> <li>○救急 3 号車運用開始 (国分地区消防組合より譲渡を受け)</li> </ul>
平成 18 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央・照島分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 17 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 2 代消防長 内屋照男 就任</li> <li>○消防職員 5 名採用 (実員 48 名)</li> </ul>
12 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高規格救急車 (日産) を購入し、12 月 23 日運用開始 (いちき分遣所配置換え) (平成 18 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
平成 19 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防署に消防ポンプ自動車 (日野・CD-I 型) を購入 (更新) (平成 18 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中央分団に小型ポンプ (B-3 級) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
平成 20 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川南分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> <li>○羽島分団に小型動力ポンプ付積載車 (日産) を購入 (更新) (平成 19 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防職員 2 名採用 (消防吏員 1 名、その他職員 1 名) (実員 48 名)</li> </ul>
平成 21 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○川上分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新) (平成 20 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業)</li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急救助係の救助業務を警防係に移管し救急係とする。</li> </ul>
平成 22 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旭分団に消防ポンプ自動車 (日野) を購入 (更新)</li> </ul>
4 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防職員 2 名採用 (実員 48 名) ※その他職員から消防吏員に転任 (1 名)</li> </ul>



平成23年	2月	○第3代消防長 池田 豊 就任 ○鹿児島県消防学校から救助工作車（三菱）の譲渡を受け、消防署に配置 ○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野・水-II型）を購入（更新） （平成22年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○消防職員1名採用（実員48名）
平成24年	2月	○消防署に高規格救急車（日産）を購入（更新） （平成23年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○第4代消防長 深山龍朗 就任 ○消防職員1名採用（実員48名）
	12月	○荒川・冠岳分団に小型ポンプ搭載消防自動車（トヨタ）を購入（更新） （平成24年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成25年	1月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） （平成24年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○消防職員1名市役所へ出向 市役所職員1名消防本部に事務職員として出向（実員48名）
	12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成25年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成27年	2月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新） （平成26年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○中央分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新） （平成26年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	4月	○第5代消防長 原菌照明 就任
平成28年	1月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） （平成27年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	2月	○照島分団に小型動力ポンプ付積載車（トヨタ）を購入（更新） （平成27年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	3月	○消防救急デジタル無線の整備完了（施工業者：㈱九電工）
	4月	○消防職員1名採用（実員48名）
	11月	○消防署に救助工作車（日野）を購入（更新） （平成28年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成29年	4月	○第6代消防長 前屋満治 就任 ○消防職員2名採用（実員48名）
平成29年	12月	○中央仮設株式会社から広報車の寄贈を受け、消防署に配置
平成30年	2月	○消防署に高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） ○消防署に消防指揮車（トヨタ）を購入（更新）
	4月	○消防職員1名市役所へ出向 ○消防職員1名鹿児島県消防学校へ出向 ○消防職員2名採用（実員48名）
平成31年	3月	○日本消防協会より、優良消防団として竿頭綬を授与される。
	4月	○第7代消防長 若松勝司 就任 ○消防職員1名採用（実員47名）

令和 2年 4月	○消防職員3名採用（実員48名）
11月	○ドローン運用アドバイザー研修に消防職員1名を派遣
令和 3年 3月	○消防職員1名総務省消防庁からドローン運用アドバイザーに委嘱される
	○高機能救命ボートを消防庁から緊援隊資機材として無償貸与を受ける
4月	○第8代消防長 平石 剛 就任
	○消防職員2名採用（実員48名）
11月	○消防署にはしご車（モリタ）を購入（更新） （令和3年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
令和 4年 4月	○第9代消防長 谷口浩貴 就任
	○消防職員4名採用（実員48名）
令和 5年 3月	○高規格救急車（トヨタ）を購入（更新） （令和4年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	○日本消防協会から防災活動車（三菱）の寄贈を受け、消防署に配置
4月	○第10代消防長 下池裕美 就任
	○消防職員3名採用（実員49名）

※串木野市消防本部・署の沿革については、Ⅶの付録に記載

#### 4 歴代消防長

##### いちき串木野市消防本部

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成18年3月	野田 豊
第2代	平成18年4月	平成22年3月	内屋 照男
第3代	平成22年4月	平成24年3月	池田 豊
第4代	平成24年4月	平成27年3月	深山 龍朗
第5代	平成27年4月	平成29年3月	原 藺 照明
第6代	平成29年4月	平成31年3月	前屋 満治
第7代	平成31年4月	令和3年3月	若松 勝司
第8代	令和3年4月	令和4年3月	平石 剛
第9代	令和4年4月	令和5年3月	谷口 浩貴
第10代	令和5年4月	現在	下池 裕美

※串木野市消防本部の歴代消防長については、Ⅶの付録に記載

# 総務

常備消防 1消防本部 1消防署 1分遣所

消防職員 49名(平均年齢 41.7歳)

(令和5年4月1日現在)

消防団 1消防団 12分団

消防団員 245名(平均年齢 48.9歳)

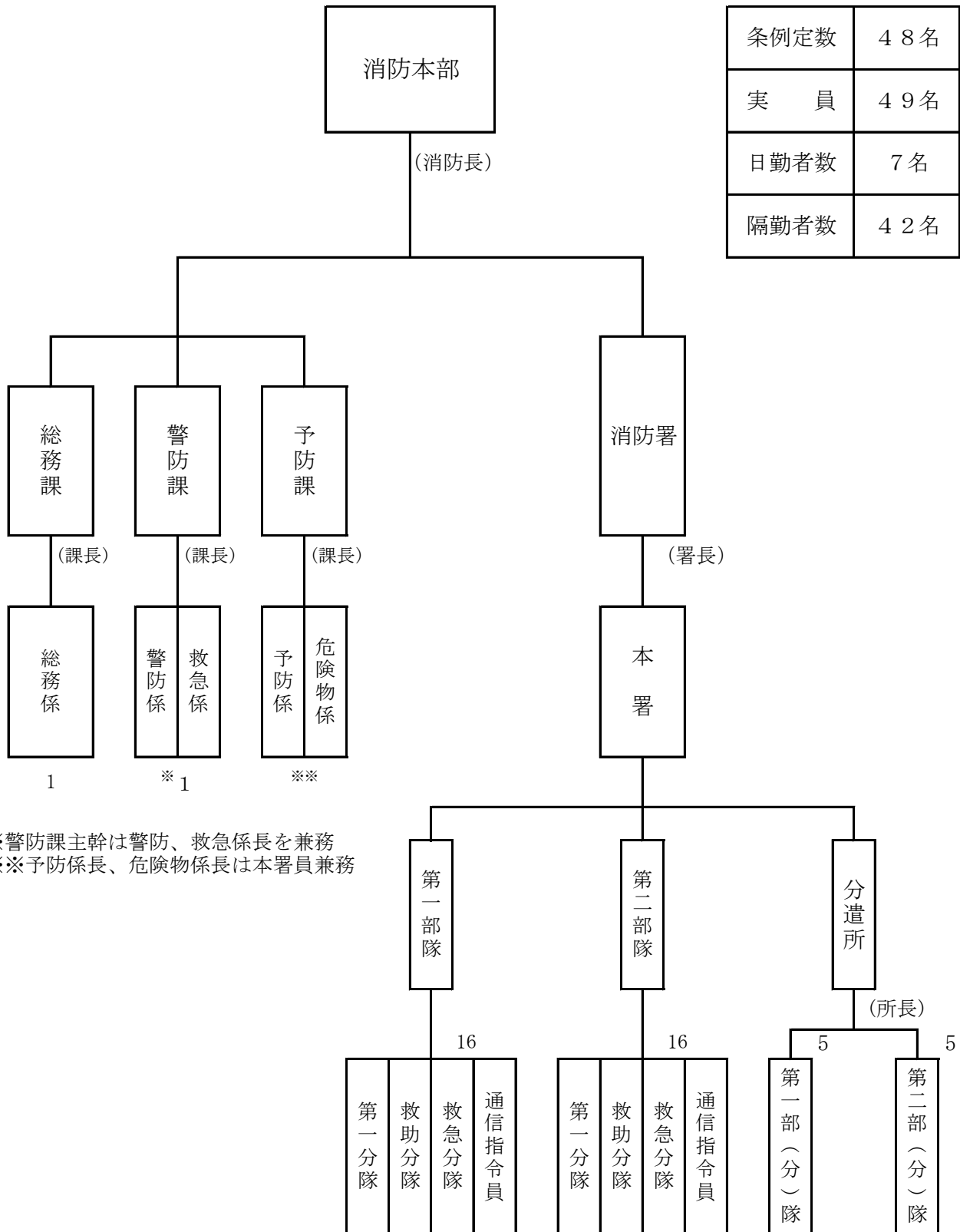
(令和5年4月1日現在)

令和4年度消防予算 612,800千円

(住民1人当り 23,395円)

# いちき串木野市消防本部・消防署の組織

令和5年4月1日現在



※警防課主幹は警防、救急係長を兼務  
 ※※予防係長、危険物係長は本署員兼務

注1：分遣所長は、分遣所第1部隊長を兼務する。

注2：分遣所は、第1分隊と救急分隊の乗換運用とする。

注3：署員にあつては、本部員を兼務し、本部事務を補完する。

## 2 消防本部・消防署・分遣所の事務分掌

### <消防本部>

#### 【総務課】

##### ○ 総務係

- (1) 職員の人事及び組織に関すること。
- (2) 職員の服務に関すること。
- (3) 職員の階級、任免、分限及び懲戒に関すること。
- (4) 公務災害補償及び消防賞じゅつ金に関すること。
- (5) 予算の編成及び執行に関すること。
- (6) 物品の購入、保管及び処分に関すること。
- (7) 職員及び団員の被服及び貸与品に関すること。
- (8) 公有財産に関すること。
- (9) 公印の保管に関すること。
- (10) 文書の受発、編さん及び保存に関すること。
- (11) 条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
- (12) 職場及び職員の安全管理並びに衛生管理に関すること。
- (13) 職員の教養、研修等の総括に関すること。
- (14) 情報公開に関すること。
- (15) 消防年報及び消防統計に関すること。
- (16) 消防表彰に関すること。
- (17) 職員及び団員の福利厚生に関すること。
- (18) 会議及び儀式に関すること。
- (19) 消防協会及び消防学校に関すること。
- (20) 消防職員委員会に関すること。
- (21) 消防手数料等の収納に関すること。
- (22) 消防長会に関すること。
- (23) 消防連合後援会に関すること。
- (24) 消防団員互助会に関すること。
- (25) 消防団事務に関すること。
- (26) 他の係に属さないこと。

---

#### 【予防課】

##### ○ 予防係

- (1) 火災予防の企画に関すること。
- (2) 火災予防査察に関すること。
- (3) 建築同意事務に関すること。
- (4) 消防用設備等に係る検査及び指導に関すること。
- (5) 火災の調査、統計、報告及び証明に関すること。
- (6) 防火管理者の指導及び育成に関すること。
- (7) 防火管理協会及び幼少年婦人防火委員会に関すること。
- (8) その他火災予防に関すること。

---

##### ○ 危険物係

- (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。
- (2) 危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関すること。
- (3) 危険物施設の予防査察に関すること。
- (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。
- (5) 石油コンビナート等特別防災区域の指導に関すること。
- (6) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）の規定に基づく煙火の消費に関すること。
- (7) 危険物安全協会に関すること。
- (8) その他危険物に関すること。

## 【警防課】

### ○ 警防係

- (1) 消防計画及び各種防災計画に関する  
こと。
- (2) 火災その他の災害等の警戒及び防御に  
関すること。
- (3) 災害統計（火災、救急統計を除く。）及び  
報告に関すること。
- (4) 消防応援協定に関すること。
- (5) 職員及び団員の警防関係教育訓練に関  
すること。
- (6) 消防施設、装備等の整備計画及び維持管理  
に関すること。
- (7) 国庫補助金、石油交付金等に関する  
こと。
- (8) 気象、防災情報等の収集、伝達及び広報に  
関すること。
- (9) 消防無線及び防災行政無線に関する  
こと。
- (10) 消防用燃料の受払いに関する  
こと。
- (11) 救助及び潜水業務に関する  
こと。
- (12) その他警防に関する  
こと。

### ○ 救急係

- (1) 救急業務に関する  
こと。
- (2) 救急の統計、報告及び証明に関する  
こと。
- (3) 職員の救急教育訓練に関する  
こと。
- (4) 救急資機材の維持管理に関する  
こと。
- (5) 応急手当の普及啓発に関する  
こと。
- (6) 医師会、医療機関等との連絡調整に  
関すること。
- (7) その他救急に関する  
こと。

## <消防署>

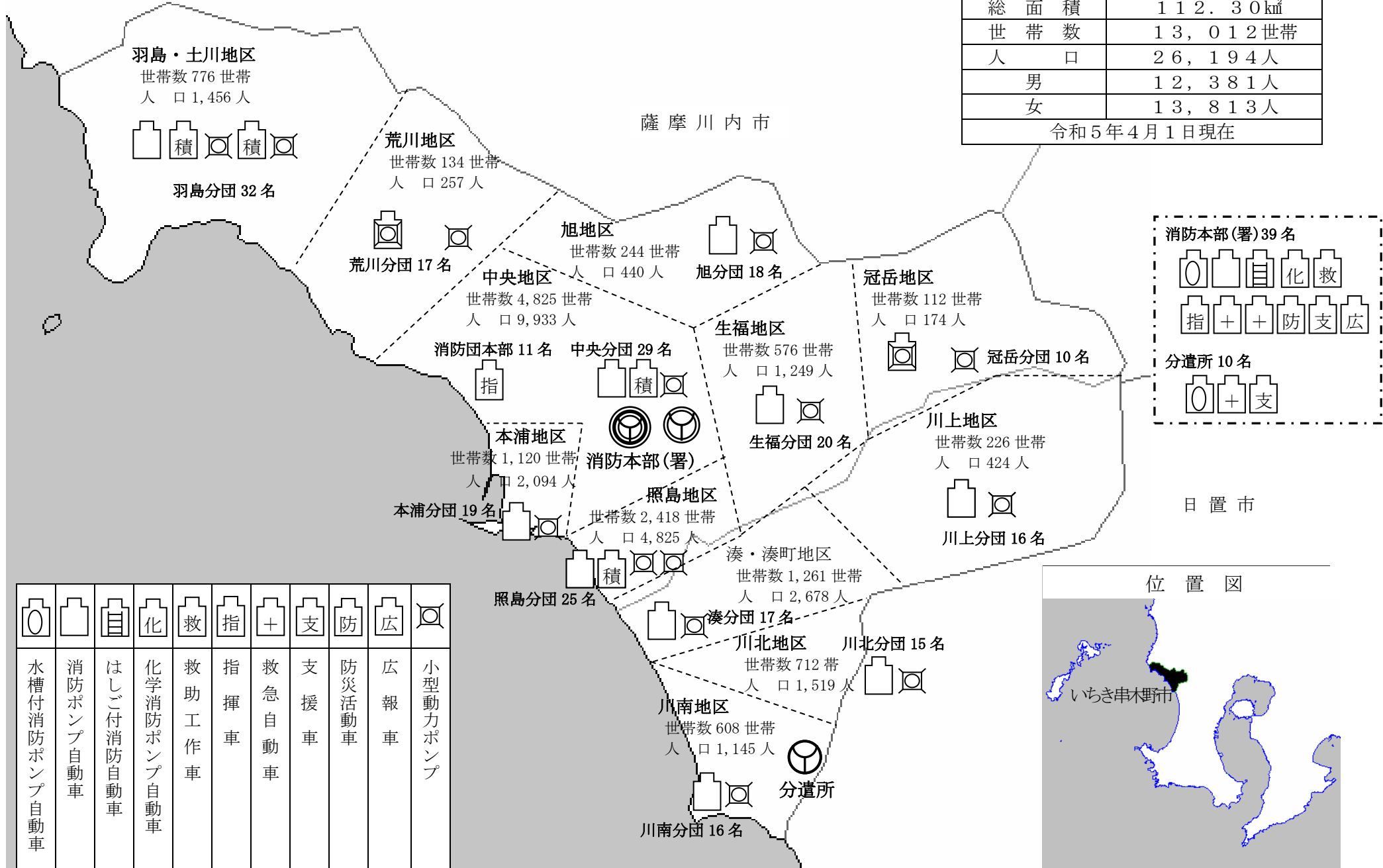
- (1) 消防通信及び受付事務に関する  
こと。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活  
動に関する  
こと。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関する  
こと。
- (4) 署内の会議に関する  
こと。
- (5) 署長会に関する  
こと。
- (6) 防火広報、予防及び警防査察の実施に  
関  
すること。
- (7) 署員及び団員の訓練に関する  
こと。
- (8) 消防水利及び地理調査に関する  
こと。
- (9) 防火対象物の訓練指導に関する  
こと。
- (10) 防火協力団体等の指導育成に関  
する  
こと。
- (11) 気象、防災情報及び火災警報等に  
関  
すること。
- (12) 応急手当の普及に関する  
こと。
- (13) 空地及び空家の管理指導に関  
する  
こと。
- (14) 住宅等の火災予防に関する  
こと。
- (15) 消防資機材の出納及び保管に関  
する  
こと。
- (16) その他消防業務の実施に関  
する  
こと。

## 【分遣所】

- (1) 受付事務に関する  
こと。
- (2) 火災、救急、救助、風水害等の災害活  
動に関する  
こと。
- (3) 火災その他の災害の警戒に関する  
こと。
- (4) 防火広報、予防及び警防査察の実施に  
関  
すること。
- (5) 消防水利及び地理調査に関する  
こと。
- (6) 防火対象物の訓練指導に関する  
こと。
- (7) 防火協力団体等の指導育成に関  
する  
こと。
- (8) 応急手当の普及に関する  
こと。
- (9) 空地及び空家の管理指導に関  
する  
こと。
- (10) 住宅等の火災予防に関する  
こと。
- (11) その他消防業務の実施に関  
する  
こと。

### 3 いちき串木野市消防現勢分布図

総面積	112.30km <sup>2</sup>
世帯数	13,012世帯
人口	26,194人
男	12,381人
女	13,813人
令和5年4月1日現在	



羽島・土川地区  
 世帯数 776 世帯  
 人口 1,456 人



羽島分団 32名

荒川地区  
 世帯数 134 世帯  
 人口 257 人



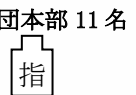
荒川分団 17名

旭地区  
 世帯数 244 世帯  
 人口 440 人



旭分団 18名

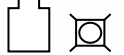
中央地区  
 世帯数 4,825 世帯  
 人口 9,933 人



消防団本部 11名

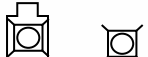
中央分団 29名

生福地区  
 世帯数 576 世帯  
 人口 1,249 人



生福分団 20名

冠岳地区  
 世帯数 112 世帯  
 人口 174 人



冠岳分団 10名

本浦地区  
 世帯数 1,120 世帯  
 人口 2,094 人



本浦分団 19名

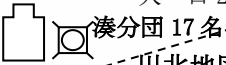
消防本部(署)

照島地区  
 世帯数 2,418 世帯  
 人口 4,825 人



照島分団 25名

湊・湊町地区  
 世帯数 1,261 世帯  
 人口 2,678 人



湊分団 17名

川上地区  
 世帯数 226 世帯  
 人口 424 人



川上分団 16名

川北地区  
 世帯数 712 世帯  
 人口 1,519 人



川北分団 15名

川南地区  
 世帯数 608 世帯  
 人口 1,145 人



川南分団 16名



分遣所

位置図



#### 4 消防庁舎等施設の状況

##### (1) 消防本部（署）・分遣所

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
消防本部 消防署	昭和通 133番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	1,603.54	庁舎建築面積 618.80 庁舎延面積 1,020.76 訓練塔(5階建)延 80.0	着工 S58.7.27 竣工 S59.3.20 増改築 H4.10.22
いちき 分遣所	大里 11番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	3,160.00	庁舎建築面積 301.62 庁舎延面積 414.32 訓練塔 25.00	完成 S57.9.28 増改築完成 H11.3.3 完成 H14.11.20

##### (2) 消防団

所管	所在地	構造	敷地面積㎡	建築面積等㎡	建築年月
中央分団	旭町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	227.02	建築面積 69.08 延面積 118.28	H5.3
本浦分団	西浜町 1番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	165.29	建築面積 52.79 延面積 86.00	H12.3
照島分団	東島平町 417番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	167.65	建築面積 64.71 延面積 120.08	H8.3
羽島分団	羽島 5,218番地	鉄筋コンクリート造 2階建	羽島コミュニ ティセン ター敷地内	建築面積 89.25 延面積 120.74	H9.3
	(土川班) 羽島 9,675番地	鉄筋コンクリート造 平屋建		建築面積 40.80 床面積 40.80	S54.3
荒川分団	荒川 2,450番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建	小学校敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H6.3
旭分団	金山 14,103番地15	鉄骨造平屋建	旭コミュニ ティセンタ ー敷地内	建築面積 72.00 床面積 72.00	H7.2
生福分団	生福 6,660番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	452.33	建築面積 72.96 延面積 130.08	H17.3
冠岳分団	冠岳 12,984番地2	鉄筋コンクリート造 2階建	231.38	建築面積 37.50 延面積 75.00	H7.3
資材倉庫	東島平町 26番地 (旧照島分団車庫)	鉄骨スレート造 平屋建	129.80	建築面積 62.65 延面積 62.65	S50.9
湊分団	湊町 1丁目252番地	鉄筋コンクリート造 2階建	1,128.79 のうち一部	建築面積 81.52 延面積 136.80	S58.3
川南分団	大里 705番地11	鉄骨造H型 2階建	230.57	建築面積 53.38 延面積 106.76	S61.12
川北分団	大里 5,631番地	鉄骨造 2階建	595.31	建築面積 53.535 延面積 107.07	H4.12
川上分団	川上 1,171番地	鉄骨造H型 2階建	1,505.02 のうち一部	建築面積 48.19 延面積 96.38	S62.11



## 5 令和4年度の主な行事

4月	7日	鹿児島県消防長会春季総会（薩摩川内市 8日まで）
	8日	鹿児島県消防協会日置支部総会（日置市）
	15日	第1回消防幹部会議（防災センター）
	26日	度鹿児島県消防関係者功労者表彰式及び消防大会（県民交流センター）
	27日	全国消防長会総務委員会（静岡市）
5月	8日	第2回消防幹部会議（防災センター）
	27日	第44回鹿児島県消防救助技術指導会（県消防学校）
6月	22日	北薩地区消防長連絡協議会（薩摩川内市）
7月	3日	第8回いちき串木野市消防操法大会（多目的グラウンド）
	24日	鹿児島県消防協会日置支部消防操法大会（日置市）
8月	26日	第35回鹿児島県消防操法大会（県消防学校）
9月	16日	消防職員委員会（消防本部会議室）
9月	30日	第3回消防幹部会議（防災センター）
10月	28日	鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練（串木野国家石油備蓄基地）
11月	9日	秋季火災予防運動（15日まで）
	10日	第38回大規模石油備蓄基地所在消防本部連絡協議会秋季幹事会（新潟市）
	13日	いちき串木野市総合防災訓練（野平地区）
	21日	全国消防長会九州支部消防長研修会（佐賀市）
	25日	第4回消防幹部会議（まぐろの館）
	26日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（沖縄市）
12月	9日	鹿児島県消防協会日置支部年末打合せ会（日置市）
	9日	年末年始特別警戒及び安心安全運動出発式（串木野漁港）
	28日	消防団年末夜警（市内全域：29日まで）
1月	8日	令和5年消防出初式（多目的グラウンド）
	27日	北薩地区消防長連絡協議会職員研修会（薩摩川内市）
2月	3日	第5回消防幹部会議（防災センター）
	11日	鹿児島県原子力防災訓練（羽島地区他）
	15日	鹿児島県消防協会日置支部研修視察（佐賀市他）
	22日	消防団車両交付式（湊分団：新飛竜）（本署）
3月	1日	春季火災予防運動（7日まで）

## 6 消防予算

### (1) 消防予算の内訳 (当初予算)

(単位：千円)

款・項・目	節	令和3年度	令和4年度	比較増減
9. 消防費		789,638	612,800	△ 176,838
1. 消防費		789,638	612,800	△ 176,838
	1. 常備消防費	632,420	447,245	△ 185,175
	給料	191,911	182,149	△ 9,762
	職員手当等	130,789	121,169	△ 9,620
	共済費	68,679	62,668	△ 6,011
	報償費	40	40	0
	旅費	1,631	1,834	203
	需用費	11,835	12,093	258
	役務費	4,128	4,544	416
	委託料	924	11,931	11,007
	使用料及び賃借料	1,401	1,411	10
	原材料費	33	32	△ 1
	備品購入費	216,860	44,116	△ 172,744
	負担金、補助及び交付金	3,885	4,711	826
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	303	546	243
	2. 消防団費	116,222	87,211	△ 29,011
	報酬	13,165	40,265	27,100
	共済費	6,370	6,370	0
	災害補償費	100	100	0
	報償費	8,799	8,711	△ 88
	旅費	25,911	386	△ 25,525
	需用費	3,966	3,669	△ 297
	役務費	994	838	△ 156
	使用料及び賃借料	72	72	0
	原材料費	9	8	△ 1
	備品購入費	55,472	25,652	△ 29,820
	負担金、補助及び交付金	845	847	2
	補償、補填及び賠償金	1	1	0
	公課費	518	292	△ 226
	3. 消防施設費	14,130	12,986	△ 1,144
	賃金	0	0	0
	需用費	2,790	1,305	△ 1,485
	役務費	248	177	△ 71
	委託料	8,412	8,506	94
	使用料及び賃借料	4	4	0
	工事請負費	0	0	0
	原材料費	14	13	△ 1
	備品購入費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	2,662	2,981	319
	4. 水防費	78	78	0
	5. 災害対策費	26,788	65,280	38,492

(2) 市総予算と消防予算 (当初予算)

(単位：千円)

区分 年度別	市 総 予 算	消 防 予 算	割 合 (%)	消 防 予 算 内 訳									
				常 備 消 防 費	割 合 (%)	消 防 団 費	割 合 (%)	消 防 施 設 費	割 合 (%)	水 防 費	割 合 (%)	災 害 対 策 費	割 合 (%)
H30	15,850,000	554,135	3.5	417,261	75.3	73,460	13.3	11,253	2.0	82	0.01	52,079	9.4
R1	17,287,000	991,142	5.7	410,057	41.4	58,825	5.9	15,180	1.5	80	0.01	507,000	51.2
R2	16,010,000	526,824	3.3	417,071	79.2	63,618	12.1	21,088	4.0	80	0.02	24,967	4.7
R3	16,355,000	789,638	4.8	632,420	80.1	116,222	14.7	14,130	1.8	78	0.01	26,788	3.4
R4	16,432,000	612,800	3.7	447,245	73.0	87,211	14.2	12,986	2.1	78	0.01	65,280	10.7

(3) 消防予算と人口・世帯数との比較 (当初予算)

年度	消防予算(円)	住民一人当たりの 消防費 (円)	一世帯当たりの 消防費 (円)	人 口 (人)	
				世 帯 数	人 口
H30	554,135,000	19,649	41,718	28,202	
				13,283	
R1	991,142,000	35,610	74,803	27,833	
				13,250	
R2	526,824,000	19,208	39,811	27,427	
				13,233	
R3	789,638,000	29,734	60,490	26,557	
				13,054	
R4	612,800,000	23,395	47,095	26,194	
				13,012	

※人口及び世帯数は、各年度の4月1日現在

## 7 人事・教養

### (1) 消防職員の配置状況

(R5.4.1現在)

階級	区分	実員	消防本部							消防署			分遣所			
			消防長	次長	課長	総務係	予防係	危険物係	救急係	警防係	署長	第一部隊	第二部隊	分遣所長	第一部隊	第二部隊
司令長		1	1													
司令		10			3	1				1			1			
司令補		15					※	※				5	7		1	2
士長		9										4	2		1	2
副士長		1											1			
消防士		13										5	5		2	1
その他		0														
合計		49	1	0	3	1		0		1			16	16		5

注 警防課主幹は、警防係長・救急係長を兼務 ※予防係長、危険物係長は、署員兼務  
分遣所長は、第1部隊を兼務

### (2) 消防職員の階級別年齢構成

(R5.4.1現在)

階級	年齢	20歳未満	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	合計	平均年齢
司令長										1	1	58.0
司令									6	4	10	55.0
司令補							1	4	10		15	49.9
士長					1	4	3	1			9	39.1
副士長				1							1	27.0
消防士		1	9	2	1						13	23.5
その他												
合計		1	9	3	2	4	4	5	16	5	49	41.7

(3) 消防職員の階級別勤続年数構成

(R5.4.1現在)

階級	勤続年数	5年未満	5年 ～ 9年	10年 ～ 14年	15年 ～ 19年	20年 ～ 24年	25年 ～ 29年	30年 ～ 34年	35 年 以上	合 計
司令長		1								1
司令							1	5	4	10
司令補					3		5	7		15
士長				3	3	2	1			9
副士長		1								1
消防士		11	2							13
その他										
合計		13	2	3	6	2	7	12	4	49

(4) 消防職員研修状況

(R5.4.1現在)

年度別		平成29年 度以前の 実績	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	計	
消防 大学 校	救 助 科	1					1	2	
	警 防 科	1		※ 1				1	
	火災調査講習会	2						2	
	新任消防長・学校長科	1						1	
消 防 学 校	初 任 科	53	2	1	2	2	4	64	
	救 急 I 課 程	21						21	
	救 急 II 課 程	14						14	
	救 急 標 準 課 程	9						9	
	救 急 科	21	2	1	2	2	2	30	
	気管挿管講習	8						8	
	救 助 科	25	1	1	1	1	1	30	
	警 防 科	3						1	4
	予 防 科 ( 課 程 )	7							7
	査 察 課 程	1							1
	予 防 査 察 科 ( 課 程 )	6	1	1	1	1	1	1	11
	火 災 調 査 科 ( 課 程 )	12	1	1	1	1	1		16
	初 級 幹 部 科	6	1		1				8
	中 級 幹 部 科	6		1			1		8
無 線 科	1							1	
職 員 指 導 員 科	2							2	
梯 子 車 研 修	4							4	
気管挿管追加講習	8							8	
処置拡大追加講習	2	1	1					4	
九州 救急 救命 研修 所	救 急 救 命 士 研 修	16	1						17
	薬 剤 投 与 追 加 講 習	8							8
	指 導 救 命 士 養 成 研 修	3							3
	処 置 拡 大 追 加 講 習	2	1						3
薬 剤 投 与 病 院 実 習									
気 管 挿 管 病 院 実 習	13	1	1					15	
開 海 洋 機 構 研 究	潜 水 業 務 管 理 研 修	2							2
	潜 水 技 術 特 別 研 修	1							1
	潜 水 技 術 指 導 研 修	1							1
消 防 救 急 緊 急 自 動 車 運 転 技 能 者 研 修	1							1	
九 州 地 区 ( 警 防 / 予 防 ) 実 務 研 修	5	1	1					7	
合 計		266	13	9	8	8	10	314	

※にあつては、鹿児島県消防学校へ出向中に派遣されたもの

## 8 消防団

### (1) 消防分団所轄区域、定員及び幹部名

(R5.4.1現在)

分団 区分	団 本 部	本 部 付 団 員	中	本	照	羽	荒		生	冠		川	川	川	合
			央	浦	島	島	川	旭	福	岳	湊	南	北	上	計
団 長	1														1
副団長	2														2
分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
副分団長			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
部 長			4	2	3	4	2	2	3	2	2	2	2	2	30
班 長		2	6	4	5	6	4	4	5	4	4	4	4	4	56
団 員		6	17	11	15	20	9	10	10	2	9	8	7	8	132
実 員	3	8	29	19	25	32	17	18	20	10	17	16	15	16	245
定 員	3	10	35	21	27	32	20	20	25	20	22	21	21	20	297
所 轄 区 域			串 木 野 地 区  (本浦分団区域を除く。)	本 浦 地 区	照 島 地 区	羽 島 ・ 土 川 地 区	荒 川 地 区	旭 地 区	生 福 地 区	冠 岳 地 区	湊 ・ 湊 町 地 区	大 里 の う ち 川 南 地 区	大 里 の う ち 川 北 地 区	川 上 地 区	
世帯数			4,825	1,120	2,418	776	134	244	576	112	1,261	608	712	226	13,012
人 口			9,933	2,094	4,825	1,456	257	440	1,249	174	2,678	1,145	1,519	424	26,194
団 長	副団長		分 団 長												
西 村 博 孝	西 ノ 園 隆	石 川 一 仁  (女性消防団員)	宮 之 原 一 己	白 石 英 巳	石 野 潤 一	福 永 茂 幸	鮫 島 和 光	芹 ヶ 野 募	大 六 野 弘 行	瀬 戸 口 健 治	前 田 浩 幸	内 匠 康 義	富 永 豊	田 渕 幸 広	

(2) 消防団員の階級別勤続年数構成

(R5. 4. 1現在)

階級 \ 勤務年数	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上	合計
団長							1		1
副団長								2	2
分団長		1				2	5	4	12
副分団長					3	3	3	3	12
部長				5	3	13	4	5	30
班長		5	13	16	12	7	3		56
団員	45	43	26	10	6			2	132
合計	45	49	39	31	24	25	16	16	245

(3) 消防団員の階級別年齢構成

(R5. 4. 1現在)

階級 \ 年齢	24歳以下	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
団長									1		1	64.0
副団長									1	1	2	67.5
分団長								2	3	7	12	64.3
副分団長							4	1	3	4	12	60.3
部長				1		3	7	3	8	8	30	58.1
班長		1	1	3	8	11	7	8	6	11	56	52.9
団員	6	11	12	26	26	21	13	7	8	2	132	42.4
合計	6	12	13	30	34	35	31	21	30	33	245	48.9

## (4) 消防団員出場状況

(R4年度)

分団別 出場区分		団本部		中央	本浦	照島	羽島	荒川	旭	生福	冠岳	湊	川南	川北	川上	合計	
		女性 団員															
火災等災害	火災	回数	2	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	9
		人員	6	0	19	2	5	0	0	0	6	0	0	0	0	10	48
	風水害等の災害	回数	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
		人員	3	0	8	5	8	8	5	5	5	5	5	5	5	5	72
	小計	回数	3	0	3	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	3	22
		人員	9	0	27	7	13	8	5	5	11	5	5	5	5	15	120
演習訓練等	演習訓練	回数	13	2	38	16	28	18	17	29	27	18	17	35	27	17	302
		人員	33	17	286	88	189	139	94	176	177	82	103	259	169	95	1,907
	その他	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	回数	13	2	38	16	28	18	17	29	27	18	17	35	27	17	302
		人員	33	17	286	88	189	139	94	176	177	82	103	259	169	95	1,907
その他の	広報指導	回数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
		人員	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	警防調査等	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特別警戒	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	28
		人員	4	6	27	18	23	30	12	17	19	10	16	16	14	12	224
	捜索	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	回数	16	3	10	8	8	9	8	7	7	9	10	8	7	9	119
		人員	39	16	46	29	43	60	26	34	34	28	44	37	28	30	494
	小計	回数	18	17	12	10	10	11	10	9	9	11	12	10	9	11	159
		人員	43	46	73	47	66	90	38	51	53	38	60	53	42	42	742
合計	延回数	34	19	53	28	40	30	28	39	38	30	30	46	37	31	483	
	延人員	85	63	386	142	268	237	137	232	241	125	168	317	216	152	2,769	

## (5) 消防団員の報酬等

(単位：円)

階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	年報酬	143,200	92,500	84,400	46,700	42,700	41,200	39,700
	技術報酬	消防ポンプ車等の機関員 年額15,000 小型動力ポンプ機関員 年額10,000						
費用弁償	災害・訓練等 出動手当	火災・訓練等		1回	1人	5,100円		
		風水害		1回	1人	8,000円		



## 9 いちき串木野市消防連合後援会

(R5. 4. 1現在)

後援会(部)名	会(部)長	役職名
中央分団後援会	鮫島 功	
本浦分団後援会	大西 隆志	副会長
照島分団後援会	中馬 貞治	
れいめい羽島協議会消防後援部	新村 政廣	
荒川地区まちづくり協議会消防後援部	竹之内 茂美	
旭地区まちづくり協議会消防後援部	平田 隆一	
生福分団後援会	木場 與一郎	
冠岳地区まちづくり協議会消防後援部	川畑 千秋	監事
湊地区まちづくり協議会消防後援会	福ヶ野 和男	会長
川南分団後援会	濱田 米夫	監事
川北分団後援会	藤田 和生	
川上分団後援会	田 渕 明	

## 10 表彰 (令和4年度)

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <p>(1) 消防庁長官永年勤続功労章<br/>(羽島) 松 寄 清 美</p> <p>(2) 日本消防協会会長表彰<br/>○ 精績章<br/>(旭) 竹之下 直正<br/>○ 勤続章(30年以上)<br/>(羽島) 赤 崎 義 美</p> <p>(3) 鹿児島県知事表彰<br/>○ 40年勤続章<br/>(羽島) 福 永 茂 幸<br/>(羽島) 大 崎 勝 夫<br/>(羽島) 松 寄 清 美<br/>(荒川) 東 幸 基<br/>○ 10年勤続章<br/>(荒川) 山 下 勉<br/>(生福) 石 神 徹<br/>(本部付) 野 元 範 子<br/>(本部付) 駒 壽 み ゆ き<br/>(本部付) 馬 場 添 や よ み<br/>(本部付) 坂 元 孝 子<br/>(本部付) 船 蔵 美 奈 子<br/>(中央) 満 留 重 樹<br/>(中央) 江 口 隆 司<br/>(本浦) 濱 走 拓 矢<br/>(照島) 徳 永 照 彦<br/>(羽島) 黒 木 耕 二<br/>(旭) 西 川 飛 鳥</p> | <p>(4) 鹿児島県消防協会総裁表彰<br/>○ 功績章(20年以上)<br/>(川北) 藤 田 光 昭<br/>(羽島) 安 藤 強<br/>(冠岳) 岩 下 浩 三<br/>(羽島) 中 島 典 幸<br/>(羽島) 坂 口 雄 介<br/>(旭) 市 来 栄 光<br/>○ 精績章(15年)<br/>(川北) 池 田 善 之<br/>(荒川) 永 和 則<br/>(本浦) 中 村 正 也<br/>(川北) 新 村 真<br/>(川上) 宇 都 口 和 美<br/>(羽島) 楮 山 貴 宏<br/>(川上) 有 川 亨<br/>(川上) 鹿 丸 貢<br/>(川上) 田 中 稔</p> <p>(5) 鹿児島県消防協会日置支部長表彰<br/>○ 勤続章(15年)<br/>(生福) 前 屋 浩 二<br/>(生福) 川 崎 道 男<br/>(荒川) 城 ノ 園 秀 二<br/>(冠岳) 冷 水 慎 一<br/>(川南) 東 誉 士 治<br/>(川南) 萩 原 徹</p> | <p>(本浦) 羽 根 田 正<br/>(羽島) 久 保 博 志<br/>(湊) 田 丸 隆 之</p> <p>(6) いちき串木野市長表彰<br/>○ 10年勤続章<br/>(生福) 石 神 徹<br/>(生福) 大 六 野 救 美 弥<br/>(中央) 満 留 重 樹<br/>(中央) 江 口 隆 司<br/>(中央) 福 菌 暢<br/>(照島) 西 ノ 園 宜 久<br/>(照島) B. ア レ ッ ク ス<br/>(荒川) 東 浩 隆</p> <p>(7) いちき串木野市長感謝状<br/>○ 20年以上勤続団員の奥様<br/>(川北) 藤 田 智 由 紀<br/>(羽島) 安 藤 時 子<br/>(冠岳) 岩 下 京 子<br/>(羽島) 中 島 あ ゆ み<br/>(羽島) 坂 口 勇 子<br/>(旭) 市 来 智 永</p> |
|--|---|---|

### Ⅲ 予防・危険物

防火対象物数（法第17条）・・・・・・・・ 1, 103

危険物施設数（法第11条）・・・・・・・・ 127

## 1 防火対象物の状況

多数の人が利用する建築物は、火災が発生した場合人命危険が大きいので、一定規模以上の建築物については、防火管理者の選任及び消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備等の設置と維持管理が消防法で義務付けられている。(R5.3.31現在)

対象物別		区 分	対象物数 (150㎡以上)	防火管理者 が必要な対 象物数 (150㎡未満を 含む)	定期点検が 必要な対象 物数
1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	2
	ロ	公会堂、集会場	21	20	10
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類			
	ロ	遊技場、ダンスホール	6	5	4
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等	1	1	
3 項	イ	待合、料理店の類			
	ロ	飲食店	18	19	
4 項		百貨店、マーケット、展示場の類	42	27	6
5 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所の類	6	4	1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	196	10	
6 項	イ	(1) 診療科名中に特定診療科目を有し、診療病床又は一般病床を有する病院類	2	2	
		(2) 診療科名中に特定診療科目を有し、四人以上の患者を入院させるための施設を有する病院類	6	4	
		(3) (1)、(2)以外の病院又は入所施設を有する助産所	8	5	
		(4) 患者を入院させるための施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	14		
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム類	15	12	1
		(2) 救護施設			
		(3) 乳児院			
		(4) 障害児入所施設			
		(5) 障害者支援施設	3	3	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター類	9	2	
		(2) 更生施設			
		(3) 保育所、幼保連携認定こども園類	15	6	
		(4) 児童発達支援センター類	2	1	
		(5) 障害者支援施設	10	2	
ニ	幼稚園、特別支援学校	17	4	1	
7 項		小・中・高・大学各種学校の類	85	13	
8 項		図書館、博物館、美術館の類	3	3	
9 項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類			
	ロ	上記以外の公衆浴場	2	1	
10 項		車両の停車場又は船舶、航空機の発着場	1		
11 項		神社、寺院、教会の類	8	3	
12 項	イ	工場、作業場	169	3	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13 項	イ	自動車車庫、駐車場	28		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14 項		倉庫	114		
15 項		前各項に該当しない事業場	170	19	
16 項	イ	特定防火対象物が存する複合用途対象物	66	43	6
	ロ	上記以外の複合用途対象物	63	11	
16の2 項		地下街			
16の3 項		準地下街			
17 項		重要文化財の類			
18 項		延長50m以上のアーケード	1		
合 計			1,103	225	31

2 防火対象物階層別状況（4階以上・棟数）

（R5.3.31現在）

令別表第一区分		4階		5階		6階		10階		合計
4項	百貨店、マーケット、展示場の類	1								1
		湊町	1							
5項	ロ 共同住宅・寄宿舍等	39		15						54
		上名	1	中央	1					
		大原	3	照島	13					
		中央	8	湊町	1					
		本浦	5							
		照島	9							
		湊町	4							
		湊	4							
6項	イ 病院・診療所等	3								3
		照島	2							
		湊町	1							
6項	ロ 主として要介護状態にある者又は重度障害等が入所する施設	2		1						3
		中央	1							
		川南	1	中央	1					
7項	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	4		2						6
		照島	4	照島	2					
12項	イ 工場又は作業場	1								1
		荒川	1							
14項	倉庫	1								1
		本浦	1							
15項	前各項に該当しない事業場（事務所等）	4								4
		中央	1							
		本浦	2							
		羽島	1							
16項	イ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含むもの）	8				1		1		10
		中央	8			中央	1	中央	1	
16項	ロ 複合用途防火対象物（特定用途部分を含まないもの）	4								4
		中央	4							
合計		67		18		1		1		87
地区別	上名	1								1
	大原	3								3
	中央	22		2		1		1		26
	本浦	8								8
	照島	15		15						30
	羽島	1								1
	荒川	1								1
	川南	1								1
	川北	5								5
	湊	4								4
湊町	6		1						7	

### 3 建築同意事務等処理状況

#### (1) 建築同意状況

(R4年度)

工事種別	対象物別									
	四項	五項口	六項口(一)	一一項	一二項イ	一三項イ	一四項	一五項	専用住宅	合計
新築	2	2	1	1	1	1	3	5	3	19
増築				1	1	1			1	4
修繕										
その他			2							2
合計	2	2	3	2	2	2	3	5	4	25

#### (2) 専用住宅建築確認通知状況

(R4年度)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	6	9	14	10	12	9	9	12	8	6	6	7	108

### 4 消防用設備等設置検査実施状況

(R4年度)

事種別	対象物別										
	工	五項口	六項イ(二)	六項口(一)	六項ハ(五)	七項	一二項イ	一四項	一五項	一六項口	合計
消火器		3		1	1		4	1	2		12
屋内消火栓設備							1				1
スプリンクラー設備			1	2							3
屋外消火栓設備							2	1			3
動力消防ポンプ設備							1				1
自動火災報知設備			1	3		2	11	1	2	1	21
消防機関へ通報する火災報知設備				1							1
非常警報器具											
非常警報設備						1	1		1		3
避難器具		2									2
誘導灯				1	1		5	1	2	1	11
誘導標識		1				1	1				3
消防用水							1				1
合計		6	2	8	2	4	27	4	7	2	62

5 消防法関係届出状況

(R 4年度)

区分 対象物別		防火管理者届	防火管理者届	消防計画作成(変更)届	工事整備対象届	消防用設備等 (特殊消防用設備等)届	消防用設備等 点検結果報告	
		選任届	解任届		設備等工事届	設置届		
1 項	イ						2	
	ロ	2	2	2			19	
2 項	イ							
	ロ	3	3	4			6	
	ハ							
	ニ							
3 項	イ							
	ロ	1	1	2			18	
4 項		7	7	9	3		30	
5 項	イ	1		1			8	
	ロ	1	1	1	2	6	44	
6 項	イ	(1)					1	
		(2)	1	1	1	2	6	
		(3)						8
		(4)						14
	ロ	(1)	2	2	4	4	8	17
		(2)						
		(3)						
		(4)						
		(5)						4
	ハ	(1)						7
		(2)						
		(3)			1			14
		(4)						1
		(5)					2	9
	ニ	1	1	2			16	
7 項		6	6	6	2	4	5	
8 項		1	1	1				
9 項	イ							
	ロ							
10 項								
11 項							2	
12 項	イ	1	1	1	4	27	45	
	ロ							
13 項	イ						6	
	ロ							
14 項					4	4	25	
15 項		4	3	5	2	7	40	
16 項	イ	3	3	4			43	
	ロ	1		1		2	9	
16の2 項								
16の3 項								
17 項								
18 項								
19 項								
20 項								
合計		35	32	45	21	62	399	

## 6 火災予防条例関係届出状況

(R 4年度)

種別	月別												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
使用開始届け	1	1	3	2	2		2	1	2		2	2	18
ボイラー				2					1		2		5
変電設備			1		1		1		1		1		5
発電設備	1				1		1		1				4
蓄電池設備	1												1
改修計画(予防)	6	3	7	7	6	4	4	6	6	6	5	6	66
改修計画(政令)			1								1		2
改修計画(少危)								1					1
緩和願い						1	1	1		1			4
火災と紛らわしい		4	4	1	1	1		2	11	6			30
煙火打上げ・仕掛け				1	1	1					1	1	5
催物開催					1								1
道路工事	6	6	10	10	7	18	16	12	6	12	5	6	114
露店等の開設				2			1					2	5
禁止・危険行為解除承認							1						1
少危・指定可燃物貯蔵取扱い			1		2	1		1	1	2	2	1	11
少危・指定可燃物廃止届			1			1	1		1	3	1	1	9
	15	14	28	25	22	27	28	24	30	30	20	19	282

## 7 防火啓発状況

(R4年度)

方 法	対 象	回 数	備 考
広 報 車	市 内 全 域	2	春・秋火災予防運動期間中 又は年末年始や行楽シー ズン等の防火上警戒を要 する時に実施
防 災 行 政 無 線	市 内 全 域	4	
広報くしきの(おしらせ版)	市 内 全 家 庭	2	
防 火 ポ ス タ ー 配 布	市 内 各 事 業 所 等	8	
避 難 訓 練 等 指 導	各公民館・各事業所等	286	各公民館、各事業所等から の依頼で実施
防 火 ・ 防 災 座 談 会	各公民館・各事業所等	1	各種会合時、又は公民館等 からの依頼で実施

## 8 危険物施設の状況

(R5.3.31現在)

施設区分 倍数別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5倍以下		5	5		10		15					7	42
5倍を越え 10倍以下			2	1	5		1	1	6			8	24
10倍を越え 50倍以下	1	1	17		3				9			5	36
50倍を越え 100倍以下		1	2						7				10
100倍を越え 150倍以下									2				2
150倍を越え 200倍以下									3				3
200倍を越え 1000倍以下			2								1		3
1000倍を越えるもの			6								1		7
合 計	1	7	34	1	18		16	1	27		2	20	127



9 危険物関係許可・検査処理状況

(R4年度)

種 別	施設区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				計
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	
設 置 許 可								1					1
変 更 許 可									3			3	6
完 成 検 査								1	4			3	8
水 圧 ・ 水 張 検 査													
仮使用（貯蔵取扱）承認									3				3
岩盤タンク定期保安検査				3									3
計				3				2	10			6	21

10 危険物施設の立入検査状況

(R4年度)

施 設 別	実 施 施 設 数	立 入 検 査 延 回 数
製 造 所		
屋 内 貯 蔵 所	6	6
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	31	31
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	16	16
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	11	11
屋 外 貯 蔵 所		
給 油 取 扱 所	18	18
販 売 取 扱 所		
移 送 取 扱 所		
一 般 取 扱 所	18	18
計	101	101
少量危険物貯蔵取扱所	23	23

## 11 液化石油ガス等の保安指導状況

### (1) 届出の義務

消防法第9条の3では、火災予防又は消火活動に重大な支障を生ずるおそれのある圧縮アセチレンガス、液化石油ガスその他の物質（毒物、劇物等）を政令で指定し、一定以上の貯蔵又は取扱いをする場合、消防長等に届け出ることを義務づけている。

### (2) 消防機関の対応

この届出に対し、消防機関は先ず、火災予防措置として査察指導を行い、火災発生の未然防止を図り、次に万一の火災発生時において、これらの物質から発生する特異かつ重大な危険が付近住民に波及することを防止し、かつ消火活動にあたる消防職員に対する危害を防止するための対策に役立てることを狙いとする。

### (3) 液化石油ガス施設等の現況

(R5.3.31現在)

物 質	数 量	貯蔵・取扱施設数	備 考
液化石油ガス	300kg以上	236	
圧縮アセチレンガス	40kg以上	2	
シアン化ナトリウム	30kg以上	1	毒物
硫酸	200kg以上	2	劇物
塩素	200kg以上	1	劇物

## 12 串木野国家石油備蓄基地の概要及び現況

### (1) 概 要

位 置：いちき串木野市西薩町1番地及び北部丘陵地

備 蓄 方 式：常圧貯蔵横穴水封固定水床式

面 積：貯油施設地区26ha、地上施設地区5ha

貯蔵許可数量：1,740,874.4kL（約175万kL）

類 別・品 名：第4類 第1石油類（原油）

地 下 貯 油 槽（岩盤タンクに係る屋外タンク貯蔵所）

形 状：卵型（高さ 22m × 幅 18m × 長さ 555m）10基

水封トンネル：3本

地上荷役施設：操油設備・用役設備・電気計装設備・公害防止設備・安全防災設備・管理施設等

海上荷役設備：10万DWT級一点係留浮標式係留設備1基・海底原油配管2,300m

危険物の移送量：受け入れ時 120,000kL/日

払い出し時 96,000kL/日

他の危険物施設：屋外タンク貯蔵所 7 地下タンク貯蔵所 1

屋内貯蔵所 1 一般取扱所 5 移送取扱所 2

石油コンビナート等特別防災区域指定：平成4年8月28日

串木野基地起工：昭和62年3月31日

備蓄原油総量：約168万kL



### (2) 現 況

ア 労働無災害時間記録を継続中

令和5年3月31日 370.5万時間

イ 消防立入検査

令和4年度においては、下記の通り定期消防立入検査が実施されました。

- ・特定防災区域内巡回パトロール及び危険物施設立入検査（5/26 地下,地上部、8/31 地上部、1/20 地下水位、3/10 書類）
- ・岩盤関係定期消防立入検査（5/26、8/31、1/20、3/10）

ウ 鹿児島県石油コンビナート等総合防災訓練の実施

令和4年10月28日（金）、鹿児島県石油コンビナート等防災計画に基づく総合防災訓練を実施しました。昨今の新型コロナウイルス感染状況を鑑みた参加人数の制限をしたなか、関係機関と相互協力のもと、防災活動の円滑な実施と連携の強化という所期の目的を確認しました。

## 訓練参加者

鹿児島県、いちき串木野市、いちき串木野市消防本部、いちき串木野警察署、串木野海上保安部、串木野市漁業協同組合、鹿児島県労働基準監督署、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、日本地下石油備蓄株式会社

関係9機関、訓練車両9台、船舶4隻、ドローン1機、総勢約140名。

## 訓練想定

- (1) 令和4年10月28日 10時00分、タンカーからの原油揚荷作業中に甑島列島東方沖を震源とする震度6弱の地震が発生。いちき串木野市で大津波警報が発令され操業中の設備を緊急停止し緊急避難
- (2) 地上部の原油配管フランジ部より原油漏洩、流出。海上では海底配管より原油漏洩
- (3) 地下部において点検員1名が転倒して足を負傷。自衛救助担当、救護担当による救出・救護、消防救助隊による搬送。また、地上部の排ガス処理設備にてはしご車による高所救出
- (4) 漏れた原油に何らかの原因で着火して火災が発生

## 訓練項目

- (1) 緊急地震速報、緊急避難、異常処置・緊急通報訓練
- (2) 自衛防災本部及び現場指揮本部の設置と指示・命令等の情報伝達・機能、確認
- (3) いちき串木野市消防本部入場、現場指揮本部及び関係機関と現地調整会議
- (4) ドローンによる被害情報収集、土のう構築、オイルフェンス展張、救出・救護・救急搬送訓練
- (5) 初期消火訓練及び消火延焼防止訓練（陸上・海上一斉放水）

## 訓練風景



現地指揮本部設置



救出・救護訓練



オイルフェンス展張訓練



消火延焼防止訓練

今回の訓練で抽出された課題や問題点を改善へと繋げ、有事に備えた訓練を積み重ねるとともに一層の防災体制強化を図っていきます。

エ 岩盤タンク定期保安検査

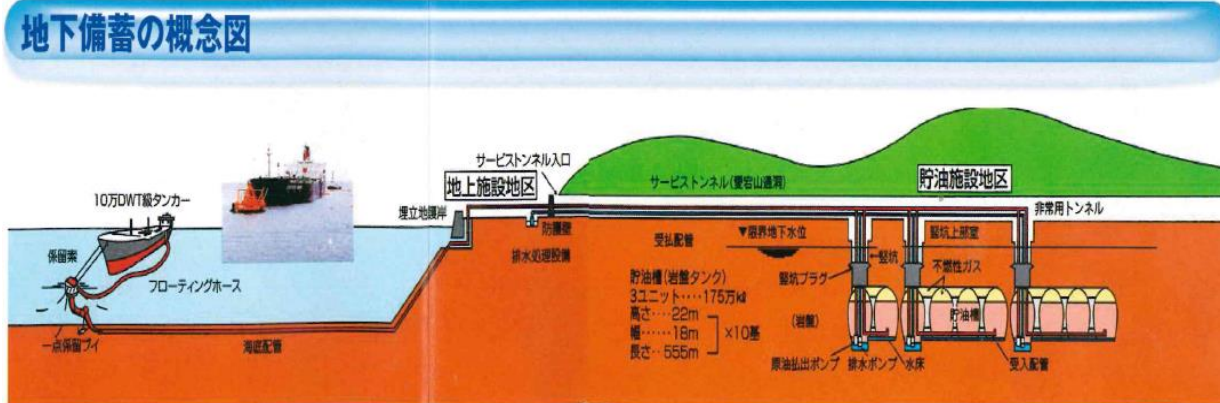
令和4年11月15日～17日（前半）、11月29日～30日（後半）の2回に分け、いちき串木野市消防本部及び危険物保安技術協会（KHK）による第3回岩盤タンク定期保安検査が実施されました。

本検査は、消防法令に基づく10年に1度の検査で、岩盤タンクの健全性（漏油・漏気、地下水位の安定性、坑道の割れ・変形、岩盤タンク設備等）について確認されました。

今回の定期保安検査において、当該岩盤タンクは消防法令に基づく技術基準に適合していると認められ、12月14日にいちき串木野市消防長より日本地下石油備蓄(株)串木野事業所取締役所長に対し、保安検査済証が交付されました。

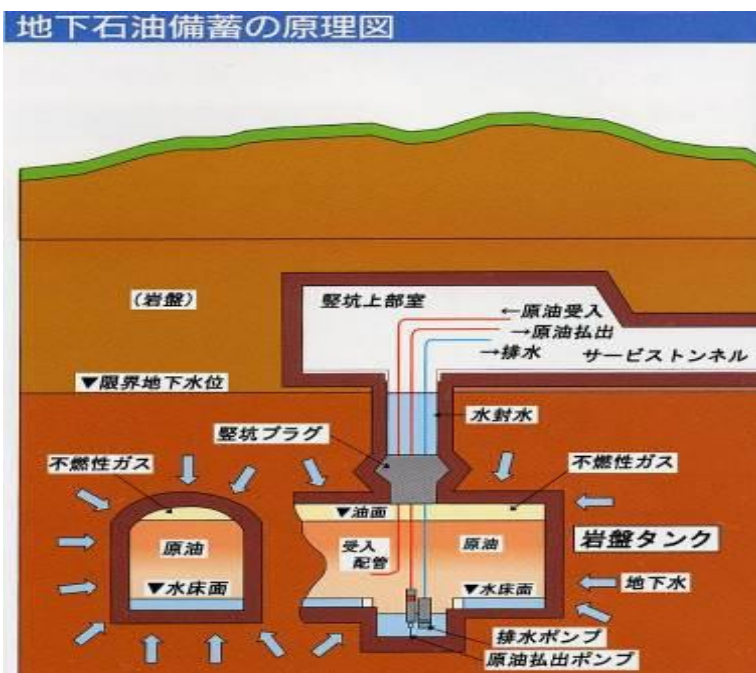


【地下岩盤タンクのしくみと水封式地下備蓄の原理】



水封式地下石油備蓄とは、地下水面下の岩盤内に空洞を掘ってそこに原油を貯蔵する方式です。自然の地下水に加え、一部水封トンネルから水を供給して空洞の周りの水圧を貯蔵された原油の圧力より高くすることによって、漏油、漏気を防止するシステムです。

岩盤タンクの水床の上に原油を貯めます。岩盤タンクにしみ出た地下水は、底水排水槽から排水ポンプにより排出されます。



### 13 消防協力団体の結成状況 (R5. 4. 1現在)

#### (1) いちき串木野市幼少年婦人防火委員会

◎ 結成年月日 昭和55年 5月 1日

◎ 目的

当委員会は、防火・防災に対する地域住民の理解と協力を得るため、その推進の中核となるクラブ等の結成、促進並びに育成強化を図ることを目的とする。

(委員名簿)

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	下 池 裕 美	いちき串木野市消防長
委員 (監事)	西 村 博 孝	いちき串木野市消防団長
委 員	若 松 友 子	照島地区婦人防火クラブ会長
〃	岩 下 振 一 郎	羽島保育園幼年消防クラブ会長
〃	神 村 慎 二	神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	井 上 恒 夫	くしきの森のこども園幼年消防クラブ会長
〃	山 崎 和 正	市来幼稚園幼年消防クラブ会長
〃	島 津 知 道	串木野保育園幼年消防クラブ会長

#### (2) 幼年消防クラブ

◎ 目的

幼年期に消防の研修を行い、火に対する正しい認識を身につけさせ、園及び各家庭の火災の予防を図るとともに、将来、人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地をかん養することを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
羽島保育園幼年消防クラブ	昭和60年5月20日	53名
会 長 岩 下 振 一 郎		
市来幼稚園幼年消防クラブ	昭和62年5月23日	36名
会 長 山 崎 和 正		
神村学園附属幼稚園幼年消防クラブ	平成2年7月16日	182名
会 長 神 村 慎 二		
くしきの森のこども園幼年消防クラブ	平成6年2月19日	111名
会 長 井 上 恒 夫		
串木野保育園幼年消防クラブ	平成28年7月4日	66名
会 長 島 津 知 道		

#### (3) 婦人防火クラブ

◎ 目的

家庭における火災の防止及び地域ぐるみの自主防災体制の確立が図られるよう初期消火等の訓練及び防火研修などを実施し、防火安全体制の確立を図ることを目的とする。

名 称	結 成 年 月 日	人 員
照島地区婦人防火クラブ	昭和52年7月23日	1,255名
会 長 若 松 友 子		

#### (4) 防火管理協会

◎ 目的及び事業

災害予防対策の研究及び消防思想の普及発達に寄与することを目的とし、併せて会員相互の連絡親睦を厚くし、次の事業を行うものとする。

- ア 消防思想の普及高揚及び災害発生時における会員相互の応援業務
- イ 防火消防諸施設の視察研究
- ウ 自衛消防の強化促進
- エ 各種災害の予防対策の研究
- オ 消火器の維持管理の指導及び検査
- カ 優良事業所及び会員の表彰に関する事。
- キ 会員の弔慰見舞に関する事。
- ク その他本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市防火管理協会	平成18年5月24日	120
会 長 溜 池 一 孝      副会長 吉尾逸郎・長友克憲		

#### (5) 危険物安全協会

◎ 目的及び事業

危険物保安対策の研究及び消防思想の普及宣伝並びに防火施設の拡充強化に寄与し、会員相互の融和親睦を図ることを目的として、次の事業を行うものとする。

- ア 消防関係、諸法規の周知徹底に関する事。
- イ 消防思想の普及宣伝に関する事。
- ウ 危険物及び高圧ガスに対する防火及び消防諸施設の視察並びに研究に関する事。
- エ 危険物取扱者の研修に関する事。
- オ 優良事業所及び優良従業員の表彰に関する事。
- カ 会員の弔慰に関する事。
- キ その他、本会の目的達成上必要と認めた事業

名 称	発 会 年 月 日	加 入 事 業 所 数
いちき串木野市危険物安全協会	平成18年5月26日	75
会 長 有 川 亨      副会長 迫 直・秋丸明仁・寺田徳一郎		

## IV 火災・救急・救助

火災件数	.....	12件
損害額	.....	4,429千円
死者	.....	0人
負傷者	.....	0人
救急件数	.....	1,413件
搬送人員	.....	1,318人
救助件数	.....	13件
救助人員	.....	5人



令和4年中の火災発生状況(内訳)

(参考資料)

火災番号	月／日 発生時分	発生場所	種別	原因	初期消火の有無	焼損棟数、り災世帯及び人員								建物焼損面積		林野その他 焼損面積 a・m <sup>2</sup>	損害額 (千円)	死者	負傷者
						全焼		半焼		部分焼		ぼや		床面積 m <sup>2</sup>	表面積 m <sup>2</sup>				
						世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員						
1	1/3 14:49	野元地内	その他	その他	無										147m <sup>2</sup>	0			
2	1/25 11:10	三井地内	建物	不明・調査中	有			1					24			2,365			
3	2/28 19:45	冠岳地内	林野	たき火	有									0a (1a以下)		0			
4	3/11 8:30	照島地内	その他	不明・調査中	無									135m <sup>2</sup>		0			
5	3/12 14:35	生福地内	建物	たき火	有	1						74				917			
6	3/31 10:50	浜ヶ城地内	その他	不明・調査中	有								0			44			
7	4/11 8:25	深田下地内	建物	たき火	有	1						60				1,072			
8	5/3 11:25	川上地内	その他	たき火	有									983m <sup>2</sup>		0			
9	7/22 14:10	住吉町地内	建物	こんろ	有				1					0m <sup>2</sup> (1m以下)		6			
10	9/29 3:50	生福地内	建物	その他	無			1								25			
11	9/29 17:20	大里地内	その他	たばこ	有											0			
12	11/9 11:50	薩摩山地内	その他	たき火	有									118m <sup>2</sup>		0			
合計		建物: 林野: 車両:	5件 1件 件	船舶: その他: 合計:	件 6件 12件	2棟 住家 非住家	棟 住家 非住家	2棟 住家 非住家	1棟 住家 非住家	1 1		134m <sup>2</sup>	24m <sup>2</sup>	林野 0a その他 1,383 m <sup>2</sup>	千円 4,429	名 0	名 0		

※ ( )は、爆発による件数等の再掲を示す。

## 2 火災統計

(1) 令和4年中の火災状況 (いちき串木野市・鹿児島県・全国)

区 分	いちき串木野市	鹿児島県 (概数)	全 国 (概数)
火 災 件 数	12	600	36,375
建 物	5	278	20,185
林 野	1	33	1,244
車 両		47	3,414
船 舶		2	78
航 空 機		0	2
そ の 他	6	240	11,452
焼 損 棟 数	5	390	29,113
建 物 焼 損 床 面 積 ( m <sup>2</sup> )	134	14,335	1,074,612
建 物 焼 損 表 面 積 ( m <sup>2</sup> )	24	1,020	104,828
林 野 焼 損 面 積 ( a )	0	233	61,413
り 災 世 帯 数	1	202	20,241
り 災 人 員	1	381	38,191
死 者	0	22	1,446
負 傷 者	0	60	5,719
損 害 額 ( 千 円 )	4,429	644,656	110,278,675
建 物	4,385	582,590	
林 野		1,031	
車 両		22,277	
船 舶		25	
航 空 機		0	
そ の 他	44	37,676	
爆 発		1,057	

(2) 過去5年間の年別火災概要

区分 年	火災件数					焼損棟数					焼損面積			死傷者		り災世帯数			り 災害人員	損害額 (千円)		
	建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物床面積 <sup>2</sup> m	建物表面積 <sup>2</sup> m	林野 <sup>a</sup>	死者	負傷者	全損	半損	小損			計	
平成30年	4		1		3	8	2		1	1	4	76	5		2		1			1	2	9,210
平成31年 令和元年	6		2		9	17	1		3	3	7	127	8		1	3			4	4	12	3,624
令和2年	2		2		4	8	2		1		3	306	20			2				2	2	8,848
令和3年	2				8	10			2		2	32	18									2,379
令和4年	5	1			6	12	2		2	1	5	134	24						1	1	1	4,429
合計	19	1	5		30	55	7		9	5	21	675	75		3	3	3		5	8	17	28,490

(3) 過去5年間の原因別火災発生件数

原因 年	たばこ	こんろ	マッチ・ライター	風呂かまど	炉	ストーブ	電気機器	電気装置	電灯・電話等配線	内燃機関	配線器具	火あそび	たき火	溶接機・切断機	灯火	火入れ	放火	放火の疑い	その他	交通機関内配線	不明・調査中	計
	平成30年				1							1		2						3		1
平成31年 令和元年	1	1											5		1	4	1		3		1	17
令和2年			2								1		4								1	8
令和3年									1				5					2	2			10
令和4年	1	1											5						2		3	12
合計	2	2	2	1					1		2		21		1	4	1	2	10		6	55

(4) 過去5年間の月別火災発生件数

年 月	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
1	1				2	3
2	1		1	1	1	4
3		1	1		3	5
4	1	1	1	2	1	6
5		4			1	5
6		1	1	1		3
7	2	1		1	1	5
8	1	3	1			5
9				1	2	3
10	2	1	2	2		7
11		4	1		1	6
12		1		2		3
計	8	17	8	10	12	55

(5) 過去5年間の曜日別火災発生件数

年 月	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
日	3	1		3		7
月		3	3	1	3	10
火			1	1	2	4
水	3	2			1	6
木	1	6	2	3	3	15
金		2	2	1	2	7
土	1	3		1	1	6
不明						0
計	8	17	8	10	12	55

(6) 過去5年間の時刻別火災発生件数

年 時間	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	計
0～1	1					1
1～2						0
2～3						0
3～4					1	1
4～5						0
5～6		1		1		2
6～7				1		1
7～8	1					1
8～9			1		2	3
9～10		2		1		3
10～11	1	3			1	5
11～12	1		1	1	3	6
12～13	1	3		1		5
13～14	1	1	2	2		6
14～15		3	1	1	3	8
15～16	2	1				3
16～17		1		1		2
17～18		2	2		1	5
18～19						0
19～20			1	1	1	3
20～21						0
21～22						0
22～23						0
23～24						0
不明						0
計	8	17	8	10	12	55

## (7) 火災発生時の気象状況

( R 4 年中 )

月		気象状況												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
天 気	快晴														
	晴	2	1	1		1		1		2		1		9	
	曇			2										2	
	雨				1									1	
	雪														
	不明														
風 速 m/s	無風状態														
	1～2		1							1				2	
	2～3	1		2						1		1		5	
	3～4			1	1									2	
	4～5	1				1								2	
	5～6														
	6～7							1						1	
	7～8														
	8～9														
	9～10														
	不明														
風 向	北														
	北 北 東														
	北 東	1	1	1						1				4	
	東 北 東				1									1	
	東														
	東 南 東														
	南 東														
	南 南 東											1		1	
	南														
	南 南 西			1										1	
	南 西														
	西 南 西			1										1	
	西	1				1		1						3	
	西 北 西														
北 西															
北 北 西										1			1		
不明															
湿 度 %	10～20														
	20～30														
	30～40														
	40～50					1								1	
	50～60														
	60～70	1						1				1		3	
	70～80	1		2						1				4	
	80～90		1	1										2	
	90～100				1					1				2	
	不明														

### 3 救急業務統計

(R4年中)

#### (1) 救急業務取扱状況

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計	
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他		
出 場 件 数	0	0	1	66	20	15	227	4	9	772	299	0	0	0	1413	
不 搬 送 件 数	0	0	0	9	1	0	16	0	5	68	4	0	0	0	103	
搬 送 人 員	0	0	1	64	19	15	211	4	4	705	295	0	0	0	1318	
性 別	男	0	0	1	26	5	5	129	1	1	375	149	0	0	0	692
	女	0	0	0	38	14	10	82	3	3	330	146	0	0	0	626

#### (2) 傷病程度別搬送状況

(R4年中)

	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死 亡	0	0	0	1	0	0	6	0	0	25	0	32
重 症	0	0	0	3	6	0	39	0	0	77	62	187
中 等 症	0	0	1	24	6	4	83	1	3	398	211	731
軽 症	0	0	0	36	7	11	83	3	1	205	22	368
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	64	19	15	211	4	4	705	295	1318

(3) 疾病分類別搬送状況 (R4年中)

診療科目	搬送人員
循環器系 脳疾患	83
循環器系 心疾患	158
消化器系	100
呼吸器系	85
精神系	28
感覚系	64
泌尿器系	39
新生物	28
打撲・血腫	84
骨折	118
脱臼・捻挫	13
神経・頸椎(髄)損傷	7
創傷	37
内部損傷	2
異物・誤飲	0
溺水	1
熱傷・火傷	1
窒息	2
中毒	1
多発外傷	0
その他	467
合計	1,318

(4) 搬送別状況 (R4年中)

搬送種別	搬送人員
条理搬送	711
依頼搬送	607
合計	1,318

(5) 覚知別出場状況 (R4年中)

覚知別	出場件数
専用(119)	938
加入電話	461
庁内電話	0
駆け付け	5
現認	1
消防無線	4
その他	4
合計	1,413

(6) 居住地別搬送状況 (R4年中)

居住地別	搬送人員
市内居住者	1118
市外居住者	200
その他	0
合計	1,318

(7) 救急救命処置実施状況 (R4年中)

救急救命処置	男性	女性
気道確保	3	3
除細動	3	3
輸液	8	4
薬剤投与	5	2
合計	19	12

(8) 救命処置実施状況 (R4年中)

救命処置内容	実施件数	
気道確保(気管挿管等)	6	
除細動	6	
輸液	心停止後	10
	心停止前	2
薬剤投与	アドレナリン	7
	ブドウ糖	0
血糖測定	6	
合計	37	



## (9) 月別救急出場状況及び搬送人員の状況

(R4年中)

月別	事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他		
1	件数			1	4	1		14			66	26			112	8	
	人員			1	5	1		14			58	26			105		
2	件数				2			18		1	58	19			98	7	
	人員				1			17			54	19			91		
3	件数				10	1	1	18	1	2	38	20			91	6	
	人員				11	1	1	18	1		36	19			87		
4	件数				7	1	1	13	1	1	57	21			102	11	
	人員				6	1	1	11	1	1	49	21			91		
5	件数				5		2	17		2	62	23			111	3	
	人員				5		2	16		1	61	23			108		
6	件数				5	3	2	18	1		53	20			102	7	
	人員				3	3	2	17	1		49	20			95		
7	件数				7	4	2	19	1	1	91	23			148	11	
	人員				8	3	2	17	1	1	84	23			139		
8	件数				6	1	1	21			87	34			150	13	
	人員				6	1	1	19			79	34			140		
9	件数				5	2	1	20			58	27			113	10	
	人員				5	2	1	17			54	24			103		
10	件数				5	3	1	23		2	54	34			122	10	
	人員				4	3	1	22		1	47	34			112		
11	件数				5	1	4	19			61	28			118	6	
	人員				5	1	4	17			57	28			112		
12	件数				5	3		27			87	24			146	11	
	人員				5	3		26			77	24			135		
合計	出件場数			1	66	20	15	227	4	9	772	299			1,413	103	
	搬送人員			1	64	19	15	211	4	4	705	295			1,318		

## (10) 曜日別救急出場状況

(R 4年中)

曜日 事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他の	
日				9	2	5	32		4	123	28				203
月				6	2	2	31		1	99	44				185
火				13	4	2	41	1		98	45				204
水				7	3	1	40	1	1	125	39				217
木				10	3	1	27	1	1	110	50				203
金				7	4	1	31		2	118	50				213
土			1	14	2	3	25	1		99	43				188
合計			1	66	20	15	227	4	9	772	299				1,413

## (11) 現場到着所要時間別出場件数

(R 4年中)

現場到着 事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	10	136	410	201	14	771	7.9
交通事故		6	28	29	3	66	10.4
一般負傷	2	32	144	46	4	228	7.7
その他	4	88	210	43	3	348	6.4
合計	16	262	792	319	24	1,413	7.6

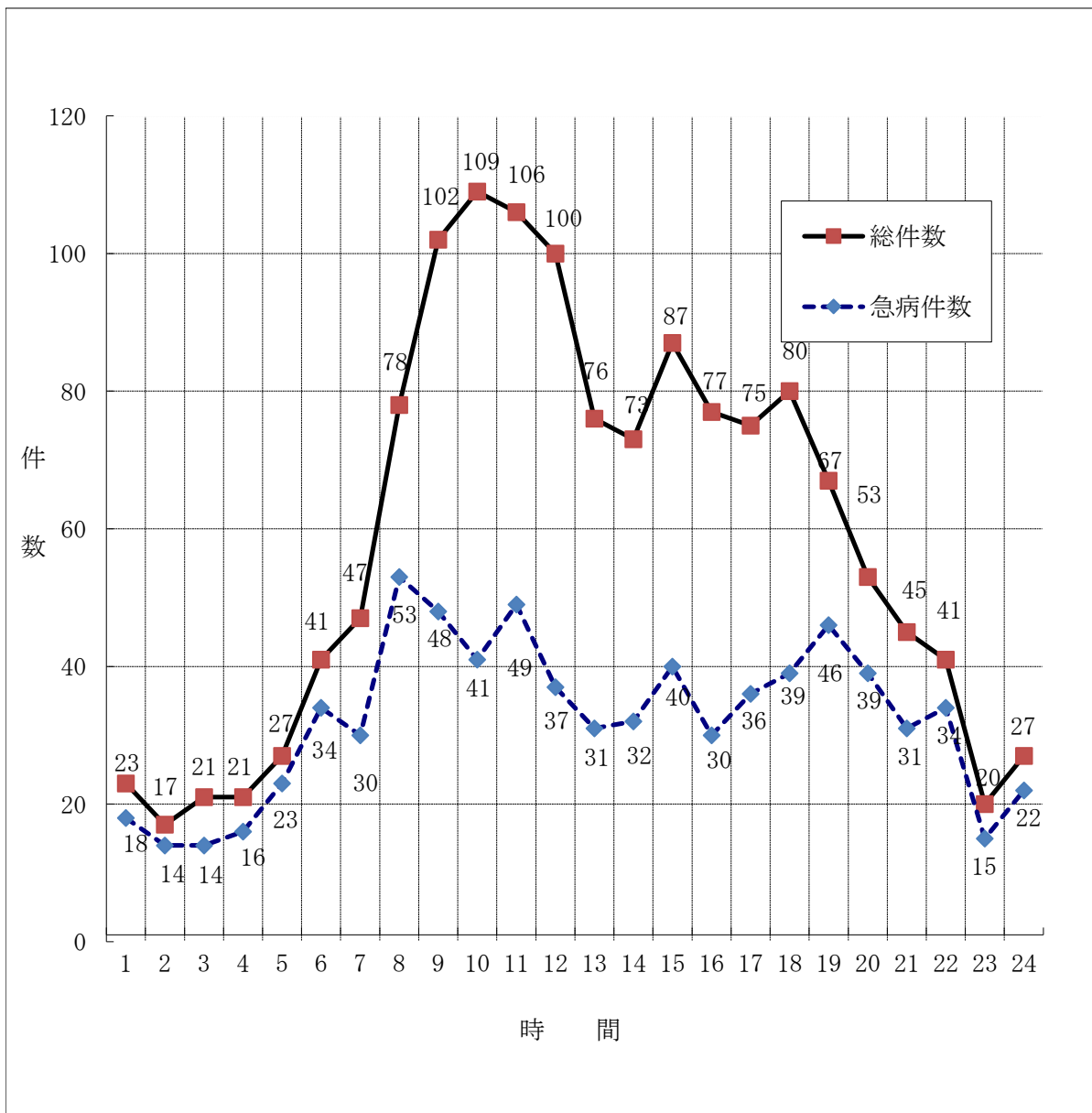
## (12) 収容所要時間別搬送人員

(R 4年中)

収容所要時間 事故種別	収容所要時間					計	収容平均 所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上		
急病		48	197	359	101	705	41.5
交通事故			11	34	19	64	42.5
一般負傷		12	71	94	34	211	38.1
その他		33	46	237	22	338	42.8
合計		93	325	724	176	1,318	41.3

(13) 時間別出場状況（総件数及び急病件数）

(R 4 年中)



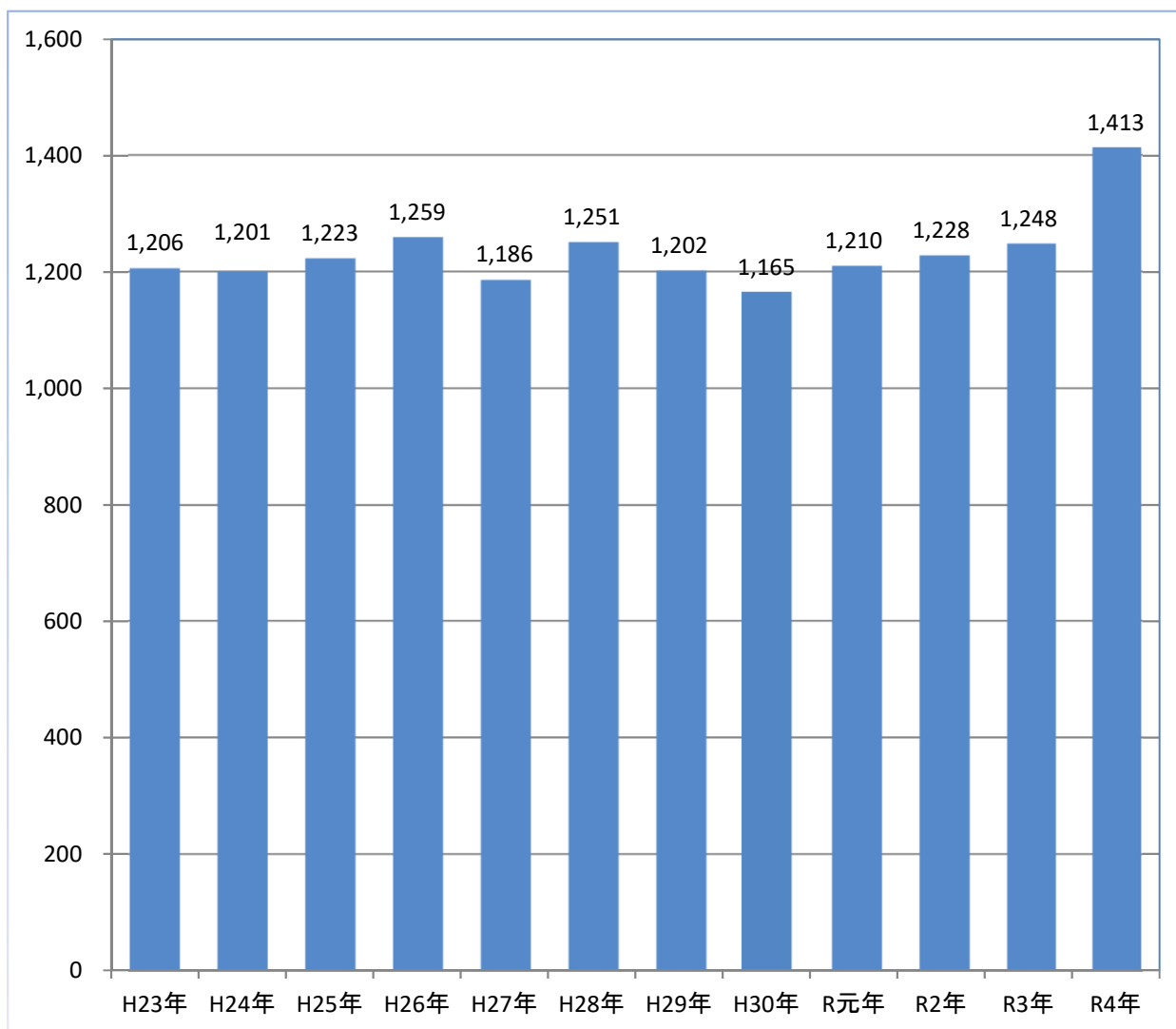
(14) 市別搬送状況（搬送先）

(R 4 年中)

搬送先 区分	いちき串木野市	鹿児島市	薩摩川内市	日置市	その他	計
搬送人員	716	270	155	156	21	1,318
比率 (%)	54.32	20.49	11.76	11.84	1.59	

※注 比率にあつては、小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

(15) 救急出場件数の推移



(16) 過去5年間の救急出場状況

事故種別 年別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
平成30年			3	62	9	11	166	3	7	633	270			1	1,165
令和元年	2		1	60	17	17	171	2	8	605	326			1	1,210
令和2年			6	66	11	8	167	2	11	627	330				1,228
令和3年			3	52	16	10	194	4	8	670	291				1,248
令和4年			1	66	20	15	227	4	9	772	299				1,413

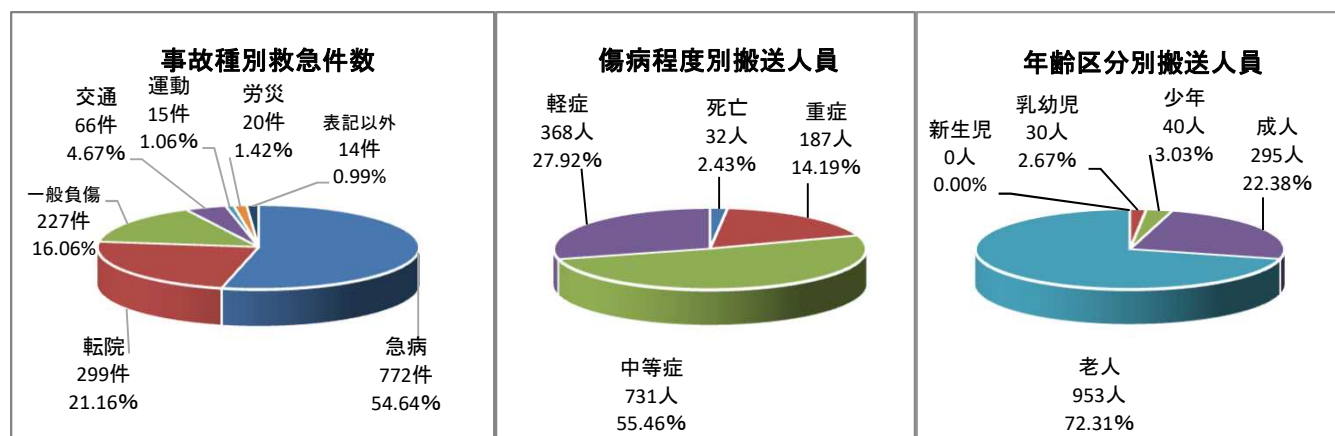
(17) 年齢別搬送人員状況

(R 4年中)

年齢別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
0～9					2		1	7			24	1				35
10～19					5	1	11	5			23	1				46
20～29					9	2		3	1		20	2				37
30～39					4	6		5	1		14	4				34
40～49			1		4	5	2	4		1	44	8				69
50～59					7	3		9		2	45	15				81
60～69					10			17			84	33				144
70～79					16	1		43	1	1	151	62				275
80～89					7	1	1	84	1		205	122				421
90～								34			95	47				176
計				1	64	19	15	211	4	4	705	295				1,318

(18) 各比率

(R 4年中)



※注 比率にあつては、小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計が100にならないことがあります。

※ 救急出場件数 1,413件  
 ※ 搬送人員 1,318人

※ 年齢区分  
 新生児 (生後28日未満)  
 乳幼児 (28日以上7歳未)  
 少年 (7歳以上18歳未)  
 成人 (18歳以上65歳満)  
 老人 (65歳以上)

#### 4 救助業務統計

##### (1) 救助出動状況

(R4年中)

	月 日	事 故 種 別	災 害 発 生 場 所	出 動 車 両	出 動 人 員	活 動 車 両	活 動 人 員	救 助 人 員
1	1/15	水難事故	串木野漁港内 東側岸壁	2	5	2	5	1
2	1/18	交通事故	薩摩山 ハシノクチ自動車付近	2	4	0	0	0
3	4/16	水難事故	照島海岸 波消ブロック内	※1	6	※1	6	1
4	5/8	交通事故	西浜町 串木野漁協北側付近	2	4	0	0	0
5	6/21	交通事故	西回り自動車道入り 123.3P	4	9	0	0	0
6	7/3	交通事故	西回り自動車道都 IC OUT ランプ	2	4	0	0	0
7	8/5	交通事故	荒川 黎明トンネル東側交差点	3	6	0	0	0
8	8/11	交通事故	西回り 自動車道入り 118.6P	2	4	0	0	0
9	11/10	交通事故	麓 セブンイレブン東側付近	2	5	0	0	0
10	11/24	交通事故	西回り自動車道入り 125P	4	10	0	0	0
11	11/27	その他の事故	冠嶽仙人岩付近	2	5	2	5	2
12	12/10	交通事故	小瀬 日進工業所付近	2	6	2	6	1
13	12/22	交通事故	大里 迫田重車輛付近	2	5	0	0	0
合 計				30	73	7	22	5

4/16の水難事故の出動車両及び活動車両の※1は高機能救命ボートである。

##### (2) 過去5年間の救助出動状況

(R4年中)

区 分 \ 年		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出 動 件 数		13	17	16	15	13
活 動 件 数		9	8	8	4	4
救 助 人 員		9	12	10	4	5
事 故 種 別	火 災					
	交 通 事 故	4	7	7	10	10
	水 難 事 故	3	5	5	2	2
	自 然 災 害		1	1		
	機 械	1				
	建 物					
	ガ ス ・ 酸 欠					
	爆 発					
	そ の 他	5	3	3	3	1

## 5 応援協定等の締結状況

(R5.4.1 現在)

締結年月日	協 定 先 名	協 定 の 種 類
S36.9.25	いちき串木野警察署	災害救助に関する協定
S45.6.15	串木野海上保安部	船舶火災の消火に関する業務協定 H6.8.19 一部改正
H9.9.24	日本地下石油備蓄(株)串木野事業所	串木野市と日本地下石油備蓄(株)串木野事業所との応援協定
H10.4.1	薩摩川内市消防局	携帯電話等からの119番通報転送等に関する協定
H10.6.26	県内各市町村及び各消防本部	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定
H12.3.1	いちき串木野市医師会	救急救命士に対する医師の指示に関する協定
H17.11.18	薩摩川内市	消防及び救急業務相互応援協定
H17.12.12	日置市	消防・救急業務相互応援協定
H18.10.25	県内市町村及び消防の一部事務組合	鹿児島県消防相互応援協定
H19.3.1	国土交通省鹿児島国道事務所 県警察本部交通部高速道路交通警察局 薩摩川内市消防局	南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する覚書
H19.3.2	鹿児島市 日置市 薩摩川内市	南九州西回り自動車道における消防相互応援協定 H27.3.7 一部改正
H23.12.22	各市町村	鹿児島県ドクターヘリ運行事業における救急搬送に関する相互応援協定
H29.8.1	プリマハム株式会社 鹿児島工場	災害時における協力要請に関する覚書
H30.6.20	串木野地区生コンクリート協同組合	災害時における消防用水等の確保に関する協定
R2.6.1	いちき串木野市危険物安全協会	災害時における燃料の供給に関する協定書
R2.7.21	南薩砂利株式会社	災害時における物資供給及び応急対策に関する協定書
R4.4.1	鹿児島プロフーズ株式会社	災害時における消防水利の使用に関する協定

## V 機 械 ・ 水 利

消 防 車 両	消防本部（署）・・・・・・・・・・	14台
	消防団・・・・・・・・・・	17台
消 火 栓	・・・・・・・・・・・・・・・・	548基
防 火 水 槽	・・・・・・・・・・・・・・・・	301基
消 防 無 線	基地局・・・・・・・・・・	1基
	固定局・・・・・・・・・・	2基
	陸上移動局（卓上）・・・・・・・・	1基
	陸上移動局（可搬）・・・・・・・・	1基
	陸上移動局（車載）・・・・・・・・	31基
	陸上移動局（携帯）・・・・・・・・	42基



# 1 基準消防力と現有消防力との比較

## (1) 消防本部（署）

(R5.4.1現在)

種 別 \ 区 分	基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
署所の数	2	2	100	0
人員	93	49	52.7	▲ 44
消防ポンプ車	3	3	100	0
はしご車	1	1	100	0
化学車	1	1	100	0
救急車	2	2	100	0
救助工作車	1	1	100	0
非常用消防自動車	0	0	—	0
非常用救急自動車	1	1	100	0

## (2) 消防団

(R5.4.1現在)

種 別 \ 区 分		基 準	現 有	充足率 (%)	過・不足 (▲)
市街地	動力消防ポンプ	9 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 3 台 3 口		
準市街地	動力消防ポンプ	15 口	消防ポンプ車 4 台 8 口	80	▲3 口
			小型動力ポンプ 4 台 4 口		
その他	動力消防ポンプ	14 口	消防ポンプ車 3 台 6 口	100	0 口
			小型動力ポンプ 8 台 8 口		
人 員		297 人	245 人	85.5	▲ 52 人

## (3) 消防職・団員と市民との割合

(R5.4.1現在)

種 別 \ 区 分	消 防 職 員 ( 1 人 当 り )	消 防 団 員 ( 1 人 当 り )
世 帯 ( 13,012 )	265.6	53.1
人 口 ( 26,194 )	534.6	106.9

## 2 消防機械器具及び水利状況

### (1) 消防署の消防車両状況

(R5.4.1現在)

種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月	ポンプ性能	排気量	定 員	総重量	長 さ	幅	高 さ	備 考
					(ℓ/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
水槽付消防ポンプ自動車	日 野	署 タ ン ク 車	鹿児島831 ふ 119	2011年2月	A-2吉谷	6,400	6	10,120	735	227	290	ディーゼル車 石油交付金事業
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	ポ ン プ 1	鹿児島800 す 6923	2016年2月	A-2森田	4,000	6	6,850	584	192	290	ディーゼル車 石油交付金事業
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	銀 河 号	鹿児島800 さ 9964	2007年3月	A-2森田	4,000	6	5,370	575	189	280	ディーゼル車 石油交付金事業
梯子付消防自動車	日 野	は し ご 車	鹿児島832 め 119	2021年11月	30m級	8,860	6	19,430	1060	249	362	ディーゼル車 石油交付金事業
化学消防自動車	三 菱	化 学 車	鹿児島88 ゆ 1343	1992年12月	A-2日機 1,600	16,030	7	14,925	830	249	296	ディーゼル車
救 助 工 作 車	日 野	救 助 工 作 車	鹿児島800 は 1867	2016年10月		6,400	6	11,510	789	232	315	ディーゼル車 石油交付金事業
指 揮 車	ト ヨ タ	指 揮 車	鹿児島800 す 8433	2018年2月		2,690	8	2,920	538	188	250	ガソリン車 石油交付金事業
広 報 車	ニ ッ サ ン	さ の さ 号	鹿児島501 も 1395	2017年12月		1,990	8	2,070	469	169	186	ガソリン車 寄贈車
高規格救急車	ニ ッ サ ン	救 急 1 号 車	鹿児島800 す 3733	2012年2月		3,490	7	3,245	564	190	253	ハイイク車 石油交付金事業
高規格救急車	ト ヨ タ	救 急 2 号 車	鹿児島800 せ 2277	2023年2月		2,690	7	3,165	566	189	252	ガソリン車 石油交付金事業
高規格救急車	ト ヨ タ	救 急 3 号 車	鹿児島800 す 8438	2018年2月		2,690	7	3,215	567	189	249	ガソリン車 石油交付金事業
資機材搬送用支援車	ダ イ ハ ツ	支 援 1 号 車	鹿児島880 あ 2330	2021年3月		650	2	1,430	339	147	193	ガソリン車 原子力防災資機材 (県)貸与品
防 災 活 動 車	三 菱	防 災 活 動 車	鹿児島800 せ 2229	2023年2月		1,490	5	1,815	454	180	183	ガソリン車 寄贈車
資機材搬送車	い す ゞ	支 援 2 号 車	鹿児島800 せ 1634	2022年3月	クレーン付	2990	3	1,960	681	222	272	ディーゼル車 石油交付金事業

## (2) 消防団の消防車両及び小型ポンプの状況

## ア 串木野地域

(R5.4.1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車 両 番 号	登録年月	ポンプ性能	排気量	定員	総重量	長さ	幅	高さ	備 考
						(Q/分)	(cc)	(人)	(kg)	(cm)	(cm)	(cm)	
団本部	指揮連絡車	ニッサン	団本部車	鹿児島832ぬ119	2019年3月		2,480	10	2,480	469	169	210	ガソリン車 石油交付金事業
中央	消防ポンプ自動車	日野	たつまき号	鹿児島800さ8954	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	571	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	すいせい号	鹿児島800す6060	2015年2月		2,980	8	3,010	502	170	233	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2015年2月	B-3 トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
本浦	消防ポンプ自動車	トヨタ	あさかぜ号	鹿児島800す6059	2015年2月	A-2 日機 2,300	4,000	10	4,060	573	188	258	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
照島	消防ポンプ自動車	日野	照月号	鹿児島800さ8956	2006年3月	A-2 モリタ	4,001	10	4,530	567	188	246	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	トヨタ	くろせ号	鹿児島800す6915	2016年2月		2,980	8	3,010	502	171	233	ディーゼル車
	小型動力ポンプ				2016年2月	B-3 トーハツ 1,400	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
羽島	消防ポンプ自動車	日野	さちかぜ号	鹿児島800す5209	2013年12月	A-2 モリタ	4,009	10	4,700	559	188	274	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	三菱	積載車	鹿児島800さ2254	2000年10月		1,990	9	2,735	499	169	242	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2000年10月	B-3 トーハツ 1,420	617						石油交付金事業
	小型動力ポンプ積載車	ニッサン	あこう号	鹿児島800す745	2008年2月		1,990	9	2,975	497	178	232	ガソリン車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2008年2月	B-3 トーハツ 1,130	526						石油交付金事業
荒川	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	荒星号	鹿児島800す4427	2012年12月	B-2 トーハツ 1,000	4,000	8	3,740	511	169	266	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3 シハウラ 1,440	618						石油交付金事業
旭	消防ポンプ自動車	トヨタ	こがね号	鹿児島800す2272	2010年3月	A-2 日機	4,000	10	4,500	573	188	242	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3 シハウラ 1,440	618						石油交付金事業
生福	消防ポンプ自動車	日野	生龍号	鹿児島800せ1590	2022年2月	A-2 小川ポンプ	4,000	8	4,620	576	188	255	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 ラビット 1,400	635						石油交付金事業
冠岳	小型ポンプ搭載消防自動車	トヨタ	やまびこ号	鹿児島800す4428	2012年12月	B-2 トーハツ 1,000	4,000	10	4,270	561	188	268	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2001年12月	B-3 シハウラ 1,440	618						石油交付金事業

イ 市来地域

(R5. 4. 1現在)

分団名	種 別	車 種	車 名	車両番号	登録年月	ポンプ性能 (ℓ/分)	排気量 (cc)	定員 (人)	総重量 (kg)	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備 考
湊	消防ポンプ自動車	いすゞ	飛 竜	鹿児島 800 せ 2261	2023年2月	A-2 森田	2,990	8	4,910	575	189	250	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 トーハツ 1420	617						石油交付金事業
川南	消防ポンプ自動車	日 野	蒼 竜	鹿児島800 す 779	2008年2月	A-2 GMいちほら	4,000	10	4,560	572	188	256	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2003年10月	B-3 トーハツ 1,440	617						石油交付金事業
川北	消防ポンプ自動車	日 野	海 竜	鹿児島 800 せ 1589	2022年2月	A-2 小川ポンプ	4,000	8	4,620	576	188	255	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2005年3月	B-3 トーハツ 1420	617						石油交付金事業
川上	消防ポンプ自動車	日 野	昇 竜	鹿児島800 す 1382	2009年1月	A-2 吉谷	4,000	10	4,730	588	188	252	ディーゼル車 石油交付金事業
	小型動力ポンプ				2007年11月	B-3 トーハツ 1,130	526						石油交付金事業

(3) 署・各分団のホース保有状況

(R 5. 4. 1 現在)

署・団	ホース本数			
	40mm	50mm	65mm	小計
消防署	25	96	169	290
分遣所	14	59	69	142
中央	2	18	76	96
本浦	2	20	66	88
照島	2	20	68	90
羽島	6	20	96	122
羽島 (土川班)				
荒川	2	15	49	66
旭	2	5	66	73
生福	2	14	65	81
冠岳	2	13	58	73
湊		10	66	76
川南		10	66	76
川北		10	62	72
川上		10	64	74
合計	59	320	1,040	1,419

(4) 消防資機材の保有状況

(R5.4.1 現在)

車両等別 種別	署 タンク 車	署 ポンプ 2 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	指 揮 車	器 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計	車両等別 種別	署 タンク 車	署 ポンプ 2 車	は し ご 車	化 学 車	救 助 工 作 車	指 揮 車	資 材 庫 他	い ち き 分 遣 所	合 計							
かぎ付はしご	1	1	1		1			2	6	送排風機					2				2							
三連はしご(二連)	1	(1)			1			2	4(1)	ジェットシューター (ウォーターチャージャー)	7(1)							2	9(1)							
金属製折畳みはしご							1		1	東消式簡易発泡器				1			1		2							
空気式救助マット							1		1	耐電手袋			3		4	2			9							
救命索発射銃					1				1	ストライカー (破壊器具)					1			1	2							
サバイバースリング					2				2	発電機	1		1		2		4	2	10							
各種救助用縛帯			1		1			3	5	投光器	1		1		4		5	3	14							
ポートパワー							1		1	ラインプロポーションナー				1			1	1	3							
可搬式ウインチ					1		1	1	3	オイルフェンス(A型)140m							1		1							
エンジンカッター	1				1			1	3	非接触温度計(プロサーモ)					1				1							
溶断器					1				1	ウェアラブルカメラ	1				1	1		1	4							
チェーンソー			1		1		7	2	11	デジタル風位風速計						1			1							
鉄線カッター	1	1	1		2		1	1	7	【車載固定型資機材】																
万能斧(ベンケイ)					3			2	5	車載伸縮式照明装置	1				1				2							
鉄筋カッター					1				1	車載固定型ウインチ					1				1							
可燃性ガス・酸素測定器					2			2	4	車載クレーン					1			1	2							
空気呼吸器	4	4	4	3	4		4	5	28	オートハイドレックス					1				1							
防毒マスク								5	5	【緊急消防援助隊用】																
耐熱服				4					4	寝袋								10	10							
潜水資器材一式									6	テント一式								1	1							
救命胴衣	8				4		32	33	77	簡易ベッド								7	7							
救命浮環	1				1		7	2	11	折畳み椅子(テーブル)								5(2)	5(2)							
各種救助用担架			1		4		4	3	12	高機能救命ポート一式								1	1							
携帯拡声器	1	1	2	1	3	2		2	12	【水防資器材等】																
油圧救助器具一式					4			1	5	スコップ	/							20	19	39						
マット型空気ジャッキ一式					2				2	ツルハシ								7							7	7
レシプロソー					1			1	2	鋸								5	2						7	7
車両固定器具					1				1	斧								6	1						7	7
マンホール救助器具					1				1	鎌								3	2						5	5
空気鋸					1			1	2	掛矢								8	1						9	9
野管用エアータンク一式							2		2	ナタ								8	3						11	11
無人航空機一式						1	1		2	土のう														1460	650	2110
簡易画像探索機					1				1	ビニールシート															8	15
熱画像直視装置					1				1	クイ(鉄・木製)														139	4	143
ハンマードリル					1		1		2	造林鎌・鉋														8	4	12

## (5) 消火薬剤等の保有状況

(R5. 4. 1 現在)

合成界面活性剤（プロフォーム）		1,040 ℓ
フォレックスパン S		160 ℓ
たんぱく泡（エアフォーム3%・6%）		2,160 ℓ
油 吸 着	吸着マット	87 枚
吸 収 材 等	吸着（収）材	30 kg
流出油処理剤		36 ℓ
オイルフェンス（S0-200E）		140 m

## (6) 原子力防災資機材の保有状況

(R5. 4. 1 現在)

空気呼吸器（県貸与）		15 基
ポケット線量計	アラーム機能なし	66 個
	アラーム機能あり	51 個
防 護 マ ス ク		135 個（フィルター156個）
防 護 服	アノラック型	360 着
	タイベック型	475 着
防 護 靴		207 足
防護靴（オーバーシューズ）		448 足
防 護 手 袋	ゴ ム 製	424 双
	綿 製	454 双
作 業 帽		801 個
携 帯 用 拡 声 器		15 基
サーベイメータ（ポケット型含む。）		7 基
イ ー ジ ー ア ッ プ テ ン ト		3 張
資 機 材 運 搬 用 車 両		1 台
脚 付 き 両 開 き ボ ー ド		1 台
資 機 材 保 管 庫		3 個
マ ル チ プ ロ ジ ェ ク タ		1 台
ス ク リ ー ン		1 台
エ ア ー テ ン ト		1 式
化 学 防 護 服		5 着
可 搬 型 衛 星 携 帯 電 話		1 式
簡 易 放 送 用 設 備		1 式
空気呼吸器拡声器（充電器含む。）		18 基
デ ジ タ ル カ メ ラ		2 基
ワ イ ヤ レ ス メ ガ ホ ン		1 式
エ ア ー 膨 張 式 投 光 装 置		1 式
空 気 ボ ン ベ 用 空 気 圧 縮 機		1 基

(7) 消防水利の状況（消防水利の基準に適合しないものも含む。）

ア 串木野地域

(R5. 4. 1現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	中	本	照	羽	荒	旭	生	冠	合
			央	浦	島	島	川		福	岳	計
消 火 栓 (公 設)	350mm		1		1						2
	300mm		7		2						9
	250mm		8	1	2						11
	200mm		8	9	4	1				4	26
	150mm		37	18	20	8	4		7	3	97
	100mm		57	9	21	11	3	4	15	2	122
	75mm		28	7	15	19	5	11	5	3	93
小 計 A			146	44	65	39	12	15	27	12	360
防 火 水 槽 (公 設)	40m <sup>3</sup> 以上		18	4	16	8	7	3	9	5	70
	30m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		43	6	18	17	5	10	14	6	119
	20m <sup>3</sup> 以上 30m <sup>3</sup> 未満		2	1	3	1		2		3	12
	20m <sup>3</sup> 未満		5	1		2					8
	(私 設)	40m <sup>3</sup> 以上		2	1						3
	小 計 B			70	12	38	28	12	15	23	14
プール	40 m <sup>3</sup> 以上		3		3	2	1	1	1	1	12
河 川	常時取水可能		7	1	3	2	3	1	4	2	23
海 水	常時取水可能			4	1	1					6
小 計 C			10	5	7	5	4	2	5	3	41
総 計 A+B+C			226	61	110	72	28	32	55	29	613



イ 市来地域

(R5. 4. 1 現在)

水利の別		地区別 配管及び水量	湊	川 南	川 北	川 上	合 計
消 火 栓 ( 公 設 )	200mm	15					15
	150mm	6	8	5			19
	125mm	1					1
	100mm	21	14	19	10		64
	75mm	19	15	11	14		59
	65mm以下	3	5	14	8		30
小 計 A		65	42	49	32		188
防 火 水 槽 ( 公 設 )	40m <sup>3</sup> 以上	22	15	19	23		79
	30m <sup>3</sup> 以上	1	1	1			3
	40m <sup>3</sup> 未満						
	20m <sup>3</sup> 以上			5			5
	30m <sup>3</sup> 未満						
( 私 設 )	40m <sup>3</sup> 以上			2			2
小 計 B		23	16	27	23		89
プー ル	40 m <sup>3</sup> 以 上		2		1		3
河 川	常時取水可能	5		3	2		10
海 水	常時取水可能						
小 計 C		5	2	3	3		13
総 計 A+B+C		93	60	79	58		290

(8) 消防無線の状況

ア 消防本部

(R5.4.1現在)

局別	数	電力	周波数	呼称	設置場所	納品年月	経過年数	会社名	再免年月
基地局	1	20W	① 活動波 1 ② 活動波 2	いくしょうほんぶ	(送受信所) 長城中継所 (通信所) 消防本部	H28. 3	7年	富士通 ゼネラル	R7. 5
固定局	2	500mW	7.5GHz帯周波数 (長城中継所・ 消防本部間通信 確保用)	いくしょうちようじょう	長城中継所	H28. 3	7年	日本無線	R9. 11
				いくしょうほんぶ	消防本部	H28. 3			R9. 11
陸上移動局 (卓上型)	1	10W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうほんぶ 1	消防本部	H28. 3	7年	富士通 ゼネラル	R7. 5
陸上移動局 (可搬型)	1			いくしょうかはん 1	いちき分遣所	H28. 3			R7. 5
陸上移動局 (車載型)	14			いくしょうしき 1	指揮車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうたんく 1	署タンク車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうたんく 2	通信室保管	H28. 3			R7. 5
				いくしょうぼんぷ 1	ポンプ 1	H28. 3			R7. 5
				いくしょうぼんぷ 2	銀河号	H28. 3			R7. 5
				いくしょうかがく 1	化学車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうきゆうじょ 1	救助工作車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうはしご 1	梯子車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうぼうかつ 1	防災活動車	H28. 3			R7. 5
				いくしょうしえん 1	資器材搬送	H28. 3			R7. 5
				いくしょうしえん 2	資器材搬送	H28. 3			R7. 5
				いくしょうきゆうきゆう 1	救急1号車	H28. 3			R7. 5
いくしょうきゆうきゆう 2	救急2号車	H28. 3	R7. 5						
いくしょうきゆうきゆう 3	救急3号車	H28. 3	R7. 5						
陸上移動局 (携帯型)	27	5W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょう 1 1	指揮車	H28. 3	7年	富士通 ゼネラル	R7. 5
				いくしょう 1 2		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 1 3		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 1 4	署タンク車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 1 5		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 1 6		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 1 7	H28. 3	R7. 5			
				いくしょう 1 8	救急1号車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 1 9		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 2 0	救助工作車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 2 1		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 2 2	H28. 3	R7. 5			
				いくしょう 2 3	救急2号車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 2 4		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 2 5	H28. 3	R7. 5			
				いくしょう 2 6	通信指令室	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 2 7		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 2 8		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 2 9	H28. 3	R7. 5			
				いくしょう 3 0	ポンプ 1	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 3 1		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 3 2		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 3 3	救急3号車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 3 4		H28. 3			R7. 5
				いくしょう 3 5	H28. 3	R7. 5			
				いくしょう 3 6	銀河号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょう 3 7		H28. 3			R7. 5

イ 消防団

(R5. 4. 1 現在)

局 別	数	電力	周 波 数	呼 称	設 置 場 所	納品年月	経過年数	会 社 名	再免年月
陸上移動局 (車載型)	17	10W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうだんほんぶ 1	団本部 団本部車	H28. 3	7年	富士通 ゼネラル	R7. 5
				いくしょうちゅうおう 1	中央分団 たつまき号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうちゅうおう 2	中央分団 すいせい号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうもとうら 1	本浦分団 あさかぜ号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうてるしま 1	照島分団 照月号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうてるしま 2	照島分団 くろせ号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうはしま 1	羽島分団 さちかぜ号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうはしま 2	羽島分団 積載車	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうつちかわ 1	羽島分団 あこう号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうあらかわ 1	荒川分団 荒星号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうあさひ 1	旭分団 こがね号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうせいふく 1	生福分団 生龍号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかんむりだけ 1	冠岳分団 やまびこ号	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうみなと 1	湊分団 飛竜	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかわみなみ 1	川南分団 蒼竜	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかわきた 1	川北分団 海竜	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかわかみ 1	川上分団 昇竜	H28. 3	7年		R7. 5
陸上移動局 (携帯型)	15	5W	① 活動波 1 ② 活動波 2 ③ 統制波 1 ④ 統制波 2 ⑤ 統制波 3 ⑥ 主運用波 3	いくしょうだんほんぶ 1 1	団本部	H28. 3	7年	富士通 ゼネラル	R7. 5
				いくしょうだんほんぶ 1 2	団本部	H28. 3			R7. 5
				いくしょうだんほんぶ 1 3	団本部	H28. 3			R7. 5
				いくしょうちゅうおう 1 1	中央分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうもとうら 1 1	本浦分団	H28. 3			R7. 5
				いくしょうてるしま 1 1	照島分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうはしま 1 1	羽島分団	H28. 3			R7. 5
				いくしょうあらかわ 1 1	荒川分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうあさひ 1 1	旭分団	H28. 3			R7. 5
				いくしょうせいふく 1 1	生福分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかんむりだけ 1 1	冠岳分団	H28. 3			R7. 5
				いくしょうみなと 1 1	湊分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかわみなみ 1 1	川南分団	H28. 3			R7. 5
				いくしょうかわきた 1 1	川北分団	H28. 3	7年		R7. 5
				いくしょうかわかみ 1 1	川上分団	H28. 3			R7. 5

## VI 気 象

年平均気温	.....	18.8℃
-------	-------	-------

年間降水量	.....	1889.0mm
-------	-------	----------

年平均風速	.....	2.7m/s
-------	-------	--------

# 1 気象観測の状況

(R 4年中) 【観測所：消防署】

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
快晴日数	4	1	2	2	1	1	3	0	4	4	7	5	34	
晴天日数	9	8	11	15	5	9	9	14	11	19	13	12	135	
曇天日数	15	18	13	7	17	14	16	16	10	7	7	7	147	
雨天日数	3	1	5	6	8	6	3	1	5	1	3	7	49	
雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
降水日数	7	10	10	12	11	16	14	11	10	5	9	8	123	
降水量	56.5	28.0	148.5	251.0	147.0	322.5	316.5	93.0	296.0	75.0	122.5	32.5	1889.0	
最大日降水量	36.5	10.0	47.0	54.5	53.5	84.0	74.5	33.5	157.5	47.0	94.0	13.0	最大/日 157.5	
風速	平均	2.6	3.0	2.8	2.5	2.3	2.9	3.3	2.5	2.6	2.3	2.3	2.8	年平均 2.7
	瞬間最大	20.8	21.9	19.0	18.6	13.2	21.0	18.3	18.4	38.1	16.3	14.4	23.0	最大/年 38.1
気温	平均	8.7	7.7	14.0	17.8	20.5	24.3	28.4	29.3	26.9	21.3	18.0	9.1	年平均 18.8
	最高	16.4	16.9	24.3	27.4	27.8	32.5	35.7	34.7	35.0	30.8	29.0	20.5	最高/年 35.7
	最低	0.1	1.6	3.2	7.3	12.0	16.2	23.0	24.1	19.5	12.5	9.2	0.5	最低/年 0.1
相対湿度	平均	70.1	69.8	78.6	80.0	83.8	90.9	90.9	88.5	84.0	75.4	80.6	75.9	年平均 80.7
	最高	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	最高/年 99.9
	最低	38.2	39.7	30.3	26.3	30.7	26.3	52.2	40.0	49.7	33.7	32.8	45.1	最低/年 26.3
実効湿度	平均	70.2	69.4	78.1	80.3	83.6	91.0	90.9	88.6	83.8	75.9	80.2	76.1	年平均 80.7
	最高	95.9	89.7	95.2	99.2	99.5	99.6	99.8	97.1	97.5	94.7	94.2	92.5	最高/年 99.8
	最低	55.1	53.9	56.7	54.9	64.2	74.0	75.3	73.4	69.1	56.6	59.4	61.9	最低/年 53.9
現地気圧	平均	1019.0	1020.5	1015.0	1014.4	1010.9	1008.2	1006.1	1007.7	1006.8	1016.4	1016.5	1019.4	年平均 1013.4
	最高	1027.7	1027.9	1024.1	1024.1	1020.7	1016.5	1014.4	1015.9	1017.5	1024.1	1024.4	1029.2	最高/年 1029.2
	最低	1007.9	1010.2	996.0	1003.7	999.9	991.0	996.4	1000.6	954.7	1010.6	1006.1	1002.1	最低/年 954.7

## 備考

天候の記録は、午前9時現在の観測である。  
降水日数は、降水量が0.5mm以上あった日数である。

## 2 風向の状況

(R4年中)

月 \ 風向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年平均
北北東 (NNE)	21.2	17.4	12.4	11.7	11.2	6.7	2.5	4.1	14.4	20.3	22.7	22.0	13.9
北 東 (NE)	18.4	17.4	24.4	23.4	26.5	20.6	18.2	23.4	26.1	21.2	24.2	14.3	21.5
東北東 (ENE)	2.7	2.9	4.4	7.1	10.0	9.6	13.4	8.2	20.1	6.3	7.0	1.9	7.8
東 (E)	1.3	1.1	4.8	3.8	3.3	8.4	7.9	3.6	5.1	2.4	3.8	0.4	3.8
東南東 (ESE)	0.3	0.6	2.6	1.5	1.6	4.4	2.7	2.2	1.2	0.8	1.4	0.3	1.6
南 東 (SE)	0.4	0.2	2.2	1.5	1.0	3.7	2.0	1.5	0.8	0.5	0.3	0.1	1.2
南南東 (SSE)	0.2	0.1	2.3	3.3	1.5	7.4	2.6	2.9	0.9	0.4	0.4	0.0	1.8
南 (S)	0.3	0.2	2.2	2.3	2.0	10.2	6.6	8.3	1.1	0.7	0.5	0.0	2.9
南南西 (SSW)	0.4	0.1	2.4	2.0	1.6	5.3	8.1	6.8	0.5	0.3	0.5	0.0	2.3
南 西 (SW)	0.6	0.8	2.2	3.3	2.5	3.2	11.1	9.4	1.5	1.1	1.1	0.1	3.1
西南西 (WSW)	0.7	1.6	3.5	9.4	4.6	7.1	8.6	13.7	4.9	3.4	2.0	0.4	5.0
西 (W)	1.5	2.6	6.7	10.6	13.9	5.8	10.3	8.2	6.2	5.4	2.9	1.3	6.3
西北西 (WNW)	3.2	3.5	7.2	2.2	5.0	2.4	3.1	2.4	1.5	2.4	3.4	3.5	3.3
北 西 (NW)	11.5	15.9	9.6	3.8	4.5	1.6	1.1	1.6	2.4	9.4	8.8	13.1	6.9
北北西 (NNW)	15.7	17.0	7.6	7.5	4.8	1.6	0.7	1.4	4.2	9.9	9.2	21.7	8.4
北 (N)	21.3	18.5	5.4	6.5	5.9	2.0	1.3	2.4	9.0	15.4	12.0	20.9	10.1

※ 風向頻度(%)を示す。

## 3 各地の降水量(防災テレメーターによる。)

(R4年中)

月 \ 観測所	冠 岳	生 福	旭	荒 川	羽島支所	土 川	消 防 署
1							56.5
2							28.0
3							148.5
4							251.0
5							147.0
6	防災テレメーター更新中のため観測データなし						322.5
7							316.5
8							93.0
9							296.0
10							75.0
11							122.5
12							32.5
合計							1,899.0

# VII 付 録

## 1 串木野市消防本部の沿革

明治36年12月	○串木野村消防組創立
大正5年9月	○腕用ポンプ購入
大正5年	○市来村湊町に公設消防組を組織（他の地域は、私設消防組を組織）
大正9年	○青年団により私設の島内消防組を組織（鳶口10丁、水汲み用木製ツルベ10個、梯子1つを配備）
昭和6年10月	○行幸記念事業で手引ガソリンポンプ購入
昭和9年5月	○消防ポンプ自動車（フォード）購入
6月	○優良消防組として県知事表彰を受ける。
昭和10年4月	○町制施行により串木野町消防組に改称
昭和14年4月	○内務省令により串木野町警防団（7分団）に改称 ○市来町警防団を結成（4分団）
昭和20年6月	○中央分団地区から本浦地区を分離し、水上分団を設立
昭和22年8月	○警防団の組織を串木野町消防団（8分団）、市来町警防団（4分団）として改編
昭和23年5月	○串木野町消防団常備部発足（部員12名、消防車〔フォード〕1台）
9月	○電話器が常備詰所に設置される。
昭和25年8月	○優良消防団として消防庁長官表彰を受ける。
10月	○市制施行により串木野市消防団と改称
昭和26年4月	○常備部団員定員14名となる。（2名増員）
昭和29年1月	○常備部詰所を浜田通りロータリー南西角に移転（現在の旭町1番地）
3月	○常備部に消防ポンプ自動車（日産）を購入
4月	○串木野市消防本部・消防署設置（職員定数15名） 初代消防長 大園純夫 就任
10月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和30年6月	○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、運搬車を照島分団に配置替
8月	○水上分団及び照島分団に小型動力ポンプ（ラビット）を購入
9月	○消防団定数条例改正 237名となる。 ○水上分団を本浦分団に改称
昭和31年5月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和31年10月～	○生福、旭、羽島、荒川、冠岳、中央の各分団に小型動力ポンプ、本浦分団に運搬車を購入
昭和32年10月	
昭和33年4月	○消防団定数条例改正 227名となる。
6月	○消防職員1名採用（実員15名）
11月	○第1回串木野市消防操法技能競技大会を実施
昭和34年6月	○消防職員1名採用（実員15名）
昭和34年7月～	○照島分団に運搬車、本浦・照島分団に小型動力ポンプ、消防署に水槽付ポンプ
昭和35年10月	自動車を購入
昭和36年4月	○消防職員1名採用（実員16名）
9月	○串木野警察署と「災害救助に関する協定」を締結
昭和37年4月	○中央分団に運搬車、照島分団別府班に小型動力ポンプを購入
昭和38年11月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入し、運搬車を旭分団に配置替
昭和39年2月	○本浦分団及び照島分団別府班のポンプ庫を新築
5月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入
昭和40年4月	○消防職員1名採用（実員17名）
7月	○消防団定数条例改正 204名となる。



昭和40年	7月	○串木野局の電話自動化により119番の専用線を開設
昭和41年	2月	○日本消防協会より、消防団表彰旗を授与される。
	4月	○消防職員1名採用（実員17名）
	7月	○第2代消防長 大久保重雄 就任
		○消防職員1名市役所から転入（実員17名）
	11月	○消防署に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入し、昭和29年3月購入の消防ポンプ自動車（日産）を羽島分団に配置替
昭和42年	1月	○羽島分団の車庫を羽島5, 237番地に新築
	7月	○消防職員1名市役所から転入（実員18名）
		○市来町・東市来町との消防相互応援協定を締結
	8月	○中央分団に小型動力ポンプを購入
		○消防団定数条例改正 210名となる。
	9月	○消防職員1名採用（実員19名）
昭和43年	2月	○消防署に救急自動車（日産セドリック）を購入、任意で救急業務を開始
	3月	○消防職員1名採用（実員20名）
	5月	○川内市と消防相互応援協定を締結
	12月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入
昭和44年	3月	○消防無線局を開設
	4月	○消防職員1名市役所から転入（実員21名）
	11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（運搬車を廃車）
	12月	○市来町・東市来町との救急業務応援協定を締結
昭和45年	1月	○消防職員1名採用（実員21名）
	4月・5月	○川内市と救急業務相互応援協定、里村・上甕村と救急業務応援協定を締結
	6月	○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」を締結
昭和46年	3月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（運搬車を廃車）
	6月	○消防法施行令の一部改正により本市の救急業務実施が義務化
	7月・8月	○樋脇町と消防相互応援協定並びに救急業務応援協定、下甕村と救急業務応援協定を締結
	9月	○消防職員1名採用（実員22名）
昭和46年	10月	○第3代消防長 入江 森 就任
	11月	○消防職員1名採用（実員22名）
		○中央分団に消防ポンプ自動車（トヨタ）を購入（更新）
昭和47年	2月	○市合同庁舎が昭和通133番地1に新築され、消防本部・署も移転
		○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に新築
	3月	○優良消防機関（消防本部・消防団）として消防庁長官表彰を受ける。
	8月	○荒川分団の車庫詰所を荒川2, 347番地に新築
	12月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳12, 984番地2に新築
		○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）、羽島分団に小型動力ポンプを購入
昭和48年	2月	○鹿島村と救急業務応援協定を締結
	3月	○生命保険協会から救急自動車の寄贈を受ける。
	7月	○日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
		○消防職員1名採用（実員23名）
	9月	○消防職員1名採用（実員24名）

昭和48年11月	○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入 ○旭分団の車庫詰所を下名14, 105番地に新築
昭和49年4月	○消防職員1名採用（実員24名）
11月	○羽島地区の電話自動化により119番専用線を開設
12月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和50年9月	○照島分団の車庫詰所を下名7, 574番地1に新築
10月	○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
12月	○中央分団に運搬車（トヨタ）を購入（更新）
昭和51年4月	○羽島分団の車庫に隣接して詰所を新築
6月	○消防団本部に赤バイ（ヤマハ250cc）を購入
7月	○本浦分団及び生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
10月	○本浦分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新） ○市来町消防団役場分団結成 日本消防協会から可搬動力ポンプ積載車の寄贈及び松下町長の命を受け、 17名で発足する。
12月	○職員定数条例改正 26名となる。
昭和52年4月	○消防職員3名採用（実員26名）
9月	○日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける。 ○旭、照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和53年3月	○職員定数条例改正 28名となる。
4月	○消防職員2名採用（実員28名）
5月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
7月	○羽島分団土川班に小型動力ポンプを購入（更新）
10月	○日本防火協会から広報車の寄贈を受ける。
昭和54年3月	○羽島分団土川班のポンプ庫詰所を羽島9, 675番地に新築
4月	○消防職員2名採用（実員30名）
6月	○照島分団及び照島分団別府班に小型動力ポンプを購入（更新）
8月	○荒川分団に小型動力ポンプを購入（更新）
9月	○荒川分団の小型動力ポンプ（53年5月購入分）を旭分団に配置替
昭和54年11月	○消防署に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新） ○本浦分団の車庫詰所を西浜町1番地に新築
昭和55年1月	○第4代消防長 軍神 計 就任
6月	○中央分団に小型動力ポンプを購入（更新）
昭和55年7月	○冠岳分団に小型動力ポンプを購入（更新）
12月	○生福分団の車庫詰所を上名9, 129番地に新築
昭和56年2月	○日本自動車工業会から救急車の寄贈を受ける。
4月	○消防職員2名採用（実員29名）
5月	○川内地区消防組合と「消防及び救急業務応援協定」を締結（川内市との従前の協定を破棄）
8月	○第1回串木野市消防団規律訓練大会を実施
昭和57年3月	○甌島4村及び樋脇町との救急業務応援協定を破棄
10月	○日置地区消防組合と「消防・救急業務応援協定」を締結（従前の協定を破棄）

昭和57年11月	○生福分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
昭和58年12月	○照島分団別府班のポンプ庫詰所を下名3，362番地2に新築
昭和59年2月	○消防本部・署の庁舎を昭和通133番地1に新築し移転
4月	○指宿地区消防組合と「消防無線使用時の混信に関する協定」を締結
11月	○照島分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和60年3月	○第5代消防長 植屋一郎 就任
4月	○消防職員1名採用（実員28名） ○串木野ライオンズクラブから指揮連絡車（日産）の寄贈を受け、消防署に配置
10月	○中央分団に消防ポンプ自動車（日野）を購入（更新）
昭和61年10月	○消防職員条例定数改正 31名となる。 ○羽島分団土川班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入
12月	○市来町・樋脇町と「消防相互応援協定」を締結 ○川南分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和62年4月	○消防職員4名採用（実員31名）
10月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
12月	○川上分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
昭和63年12月	○旭分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成元年2月	○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
4月	○消防職員1名採用（実員31名）
10月	○消防職員条例定数改正 34名となる。 ○冠岳分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成2年1月	○コアガス鹿児島㈱から救急車（トヨタ）の寄贈を受ける。
4月	○消防職員3名採用（実員34名）
10月	○消防職員条例定数改正 38名となる。 ○消防署にはしご付消防自動車（24m級）を購入 ○荒川分団に消防ポンプ自動車（日産）を購入（更新）
平成3年3月	○串木野市消防団条例の全部改正
4月	○消防職員2名採用（実員36名）
平成3年9月	○消防職員1名採用（実員37名） ○消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
平成4年1月	○鹿児島県消防相互応援協定締結
3月	○羽島分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
8月	○日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車（いすゞ）の寄贈を受け、中央分団に配置 ○石油コンビナート等特別防災区域指定 ○本浦分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
10月	○消防庁舎の車庫、倉庫を増改築
11月	○昭和50年に購入した中央分団の運搬車を消防署に配置替 ○消防署に化学消防ポンプ自動車（三菱）を購入
平成5年3月	○中央分団の車庫詰所を旭町1番地2に中央地区コミュニティ消防センターとして新築

平成 5 年	4 月	○第 6 代消防長 俣木一幸 就任 ○消防職員 3 名採用（実員 37 名） ○役場分団に小型動力ポンプ積載車を購入（更新）
平成 6 年	3 月	○荒川分団の車庫詰所を荒川 2, 450 番地に新築
	4 月	○消防職員 1 名採用（実員 37 名） ○串木野海上保安部と「船舶火災の消火に関する業務協定」の一部改正
	8 月	○鹿児島県消防相互応援協定の一部改正
	10 月	○照島分団別府班に小型動力ポンプ積載車（トヨタ）を購入（更新）
平成 7 年	2 月	○旭分団の車庫詰所を下名 14, 103 番地 15 に旭地区コミュニティ消防センターとして新築
	3 月	○冠岳分団の車庫詰所を冠岳 12, 984 番地 2 に冠岳地区コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○第 7 代消防長 尾崎正躬 就任 ○消防職員 2 名採用（実員 38 名）
平成 8 年	3 月	○照島分団の車庫詰所を東島平町 417 番地 1 に照島地区コミュニティ消防センターとして新築 ○団本部に指揮連絡車（トヨタ）を購入
	4 月	○消防職員 1 名採用（実員 38 名） ○日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け消防署に配置
	8 月	○生福分団に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新） ○本浦分団、生福分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成 9 年	1 月	○消防署に消防ポンプ自動車（三菱）を購入（更新）
	3 月	○羽島分団の車庫詰所を羽島 5, 218 番地に羽島コミュニティ消防センターとして新築
	4 月	○第 8 代消防長 植ノ原敬一 就任 ○消防職員 1 名採用（実員 38 名）
	9 月	○日本地下石油備蓄(株)串木野事業所と応援協定を締結
	11 月	○中央仮設株式会社から指揮広報車の寄贈を受け消防署に配置
	12 月	○湊・川北分団に消防ポンプ自動車を購入（更新）
平成 10 年	1 月	○羽島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	2 月	○旭分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	4 月	○川内地区消防組合と「携帯電話等からの 119 番通報転送等に関する協定」を締結
	8 月	○日本消防協会から軽可搬ポンプ付軽積載車の寄贈を受ける。
	12 月	○照島分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成 11 年	4 月	○第 9 代消防長 橋之口博繁 就任 ○消防職員 1 名採用（実員 38 名）
平成 12 年	3 月	○串木野市医師会と「救急救命士に対する医師の指示に関する協定」を締結 ○本浦分団車庫詰所を西浜町 1 番地 2 に本浦地区コミュニティ消防センターとして新築（平成 11 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	11 月	○消防署に小型動力ポンプ付積載車を購入 （平成 12 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業） ○高規格救急自動車を購入し、平成 13 年 1 月 1 日運用開始 （平成 12 年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）

平成12年	11月	○気象情報収集装置を整備（平成12年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
	12月	○鹿児島県より原子力防災資機材として軽トラック（運搬車）の貸与を受け、消防署に配置
平成13年	4月	○第10代消防長 平石耕二 就任
		○消防署に救急車（トヨタ）を購入（更新）
	12月	○荒川、旭、冠岳分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入 （平成13年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成14年	9月	○旭分団芹ヶ野ポンプ庫撤去
平成15年	4月	○第11代消防長 福菌照雄 就任
		○消防職員1名採用（実員38名）
		○川南・川上分団に小型動力ポンプを購入（更新）
	7月	○串木野・市来合併協議会が設置され、消防本部は消防防災分科会を担当
	10月	○生福地区コミュニティ消防センターの建設用地（上名6, 660番1外2筆・面積452.33㎡）を購入（平成15年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
平成16年	4月	○串木野市消防本部の組織等に関する規則の一部改正 「施設装備係」を「救急救助係」に改めるとともに、消防本部の事務分掌も一部改めた。
	10月	○湊・川北分団に小型動力ポンプを購入（更新）
平成17年	2月	○日置地区消防組合と「川内道路における消防相互応援協定」を締結
	3月	○国土交通省鹿児島国道事務所・県警察本部交通部高速道路交通警察隊・日置地区消防組合と「南九州西回り自動車道における緊急時の通報並びに出動に関する協定」を締結（3月13日 串木野・市来区間開通）
		○生福分団の車庫詰所を上名6, 660番地1に生福地区コミュニティ消防センターとして新築（平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○本浦分団、照島分団、生福分団に小型動力ポンプ（B3級）を購入 （平成16年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業）
		○簡易地図検索装置を整備 （平成16年度緊急地域雇用創出特別基金事業及び原子力防災資機材）
平成17年	4月	○第12代消防長 野田 豊 就任

## 2 串木野市消防本部の歴代消防長

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	昭和29年 4月	昭和41年 6月	大園 純夫
第2代	昭和41年 7月	昭和46年 9月	大久保 重雄
第3代	昭和46年10月	昭和54年12月	入江 森
第4代	昭和55年 1月	昭和60年 3月	軍神 計
第5代	昭和60年 3月	平成 5年 3月	植屋 一郎
第6代	平成 5年 4月	平成 7年 3月	俣木 一幸
第7代	平成 7年 4月	平成 9年 3月	尾崎 正躬
第8代	平成 9年 4月	平成11年 3月	植ノ原 敬一
第9代	平成11年 4月	平成13年 3月	橋之口 博繁
第10代	平成13年 4月	平成15年 3月	平石 耕二
第11代	平成15年 4月	平成17年 3月	福藪 照雄
第12代	平成17年 4月	平成17年10月	野田 豊

### 3 歴代消防団長

#### (1) 旧串木野市

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防組	初代	明治36年12月	明治44年5月	中尾浅助
	第2代	明治44年6月	大正5年7月	江藤千代蔵
	第3代	大正5年7月	大正5年11月	松元幸助
	第4代	大正5年11月	大正11年6月	折田金次郎
	第5代	大正11年6月	昭和5年10月	池田良之助
	第6代	昭和5年10月	昭和14年3月	江藤千代蔵
警防団	第7代	昭和14年4月	昭和14年9月	田尻森吉 (町長兼務)
	第8代	昭和14年10月	昭和19年4月	江藤千代蔵
	第9代	昭和19年4月	昭和22年7月	花牟禮武夫
消防団	第10代	昭和22年8月	昭和26年8月	富宿與助
	第11代	昭和26年8月	昭和30年7月	福山盛吉
	第12代	昭和30年8月	昭和37年3月	富宿與助
	第13代	昭和37年4月	昭和43年3月	須崎 巽
	第14代	昭和43年4月	昭和47年3月	寺師彦好
	第15代	昭和47年4月	昭和63年3月	益満利幸
	第16代	昭和63年4月	平成16年3月	網屋長行
第17代	平成16年4月	平成17年10月	岡田正治	

#### (2) 旧市来町 (※ 昭和14年4月に警防団を結成、初代団長は井上新吉でその他については、不明)

	代	就任年月	退任年月	氏名
消防団	初代	昭和22年8月	昭和52年4月	田崎勇蔵
	第2代	昭和52年5月	昭和57年6月	白石久治
	第3代	昭和57年6月	昭和59年4月	久木菌耕平
	第4代	昭和59年5月	平成3年9月	西ノ園厚志
	第5代	平成3年10月	平成5年3月	前田二夫
	第6代	平成5年4月	平成9年3月	新村明
	第7代	平成9年4月	平成17年10月	山元幸夫

#### (3) いちき串木野市

代	就任年月	退任年月	氏名
初代	平成17年10月	平成25年3月	岡田正治
第2代	平成25年4月	平成29年3月	井手迫正昭
第3代	平成29年4月	平成31年3月	大迫修蔵
第4代	平成31年4月	現在	西村博孝

**火事と救急は  
119番**

**いちき串木野市消防本部**

鹿児島県いちき串木野市昭和通 133-1

〒896-8601 電話 0996 (32) 0119

FAX 0996 (32) 4396